

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
国語・国語総合 （現代文分野）	1年・普通科	2	展開 国語総合 改訂版（桐原書店）	<ul style="list-style-type: none"> ・整理と演習（桐原書店） ・現代文アチーブ1 （桐原書店） ・常用漢字の学習 （明治書院）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し、的確に理解する能力を身につけ、伝え合う力を高める。 ・思考力を伸ばし、様々な人の心情を理解できる豊かな心を身につける。 ・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
随筆Ⅰ 評論Ⅰ 表現1 小説Ⅰ 表現2・3 詩 随筆Ⅱ 小説Ⅱ 評論Ⅱ 表現4・5 短歌と俳句 評論Ⅲ 表現9・10	『触れる』 『生命と水』 スピーチをする 『羅生門』 小説のPR文を書く 文章を要約する 『二十億光年の孤独』他 『アリュージョン、老兵の夢と闇』 『必殺アミタワシ』 『なぜ車輪動物がないのか』 作文を書く ディベートをする 短歌十二首俳句十二句 『ヒトとサルの間』 考えを述べる プレゼンテーションをする	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なコミュニケーション方法を理解する。 ・文章の論理や構成に注意しながら評論を読み、筆者の主張を理解する。 ・表現とは何かを理解し、効果的に話をする。 ・近代の小説に親しみ、登場人物の心情や、主題の把握をする。 ・表現力、読解力を向上させる。 ・詩の世界に親しみ、ことばの独特な力を感じ取る。 ・戦争体験の文章を読み、体験者の心情や状況、歴史を理解する。 ・話し言葉による小説に親しみ、作者の思いを読み取る。 ・評論の構成を分析し、筆者の主張を理解する。 ・論理や構成に注意しながら、説得力ある文章を書いたり、話したりすることができる。 ・短詩形作品を味わい、その魅力を感じ取る。 ・日常生活での自分たちのことばの使い方について考えを深める。 ・相手に伝えるために適切なことばを選んだり、わかりやすい資料を工夫したりして表現することができる。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
国語・国語総合 （古典文的分野）	1年・普通科	3	展開 国語総合 改訂版（桐原書店）	<ul style="list-style-type: none"> ・改訂版基礎からの古典文法（第一学習社） ・古典文法ワークノート（第一学習社） ・アクト古文基本編（桐原書店）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に親しみ、作品の読解を通して、それぞれの時代のものの見方、感じ方、考え方について理解する。 ・古文を読解するための基礎的な文法力を身につけ、現代語訳ができる。 ・漢文訓読のための基礎的な句法に習熟し、書き下し、現代語訳ができる。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
説話（古） 漢文入門（漢） 物語（古） 随筆（古） 日記（古） 唐詩（漢） 物語（古） 史伝（漢） 物語（古） 思想（漢） 和歌（古）	『十訓抄』～ 『古今著聞集』～ 『韓非子』～、『戦国策』～他 『竹取物語』～ 『徒然草』～ 『土佐日記』～ 『唐詩選』～他 『伊勢物語』～ 『十八史略』～ 『平家物語』～ 『論語』、『孟子』 『万葉集』、『古今和歌集』、『新古今和歌集』	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いの表記に慣れ、正確に読むことができる。 ・登場人物の言動を通して、内容を正しく把握できる。 ・用言や助動詞など基礎的な品詞への意識を持つことができる。 ・漢文訓読のための基礎的な知識を身につける。 ・漢文を正確に書き下すことができる。 ・平安時代における生活的な背景に触れ、登場人物の心を踏まえた読解ができる。 ・脚注や辞書により、現代語訳ができる。 ・活用語とその意味を理解できる。 ・用言の活用を本文に即して理解できる。 ・助動詞の基礎を学び、正しい現代語訳ができる。 ・登場人物の心情に迫り、読解力を深める。 ・漢詩に関わる基礎的な知識を学び、その形式と表現が理解できる。 ・歌の技法について理解し、歌を中心とした登場人物たちの愛の形を読み取ることができる。 ・用言の活用や助動詞との接続に留意して、正しい現代語訳ができる。 ・句法に留意しながら正しい書き下しと現代語訳ができる。 ・助動詞に習熟するとともに、敬語法の基礎的な知識を踏まえた現代語訳ができる。 ・古代中国の思想家の人生観に触れ、その考え方を理解できる。 ・韻文のリズムに触れ、詩的表現が描く世界を理解できる。 ・和歌の修辞技法に触れ、その表現効果の意味を理解できる。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
国語・ 国語表現 I	3年・普通科	2	国語表現 I （東京書籍）	
学習の到達度 目標	・人と人との間に生じる様々な問題を解決するためのコミュニケーション行為の一つである言語表現の基礎的な知識と技術を学び、多様な立場や観点が接触・交流する現代に必要な総合的な表現力を養う。			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
記録を活用する	生活に生きる記録の工夫	・見て書く、聞いて書く技術を養うことで、正確に表現する基礎を学ぶ。		
インタビューの 技術	相手の考えを尊重して	・相手の思いを伝えるためにインタビューの方法を工夫する。		
情報を探す	図書館の活用	・必要な情報を得るために必要な知識を深め、探索する基礎的な方法を学ぶ。		
意見文を書く	マップ法と対話法	・論理的な文章の書き方を学び、様々なテーマに対して自分の意見を持ち、説得力のある文章構成を考える。		
古典の表現に学 ぶ	現代に生きる古典の表現	・古典の表現を通して、現代にも通じる様々な表現の技術や発想の方法について体得する。		
討論会を開く	主張の観点と根拠を考 える	・集団の中で、互いの意見の調整や意志決定をするために会議のルール・発表の実際について学ぶ。		
報告文と発表の 技術	レポートとプレゼンテ ーション	・色々な状況における表現や、プレゼンテーションにおける様々な方法を体験することによって、表現の総合化を図る。		
高校生からのメ ッセージ	原稿をもとにしたスピー チ	・曖昧な記憶を言葉にすることではっきりさせ、自分史を作り、新しい自己発見を図る。		
広告の表現技術 に学ぶ	広告とレトリック	・膨大な情報の中で生きていくために、メディアに対して意識的に関わることで、メディアを主体的に使いこなし、好ましいコミュニケーションを創出する力を身につける。		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
国語・国語総合 （現代文分野）	1年・生活文化科	2	展開 国語総合 改訂版（桐原書店）	・整理と演習（桐原書店） ・現代文アチーブ1 （桐原書店） ・常用漢字の学習 （明治書院）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語を適切に表現し、的確に理解する能力を身につけ、伝え合う力を高める。 ・思考力を伸ばし、様々な人の心情を理解できる豊かな心を身につける。 ・言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
随筆Ⅰ 評論Ⅰ 表現1 小説Ⅰ 表現2・3 詩 随筆Ⅱ 小説Ⅱ 評論Ⅱ 表現4・5 短歌と俳句 評論Ⅲ 表現9・10	『触れる』 『生命と水』 スピーチをする 『羅生門』 小説のPR文を書く 文章を要約する 『二十億光年の孤独』他 『アリューション、老兵 の夢と闇』 『必殺アミタワシ』 『なぜ車輪動物がない のか』 作文を書く ディベートをする 短歌十二首俳句十二句 『ヒトとサルの間』 考えを述べる プレゼンテーションをする	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なコミュニケーション方法を理解する。 ・文章の論理や構成に注意しながら評論を読み、筆者の主張を理解する。 ・表現とは何かを理解し、効果的に話をする。 ・近代の小説に親しみ、登場人物の心情や、主題の把握をする。 ・表現力、読解力を向上させる。 ・詩の世界に親しみ、ことばの独特な力を感じ取る。 ・戦争体験の文章を読み、体験者の心情や状況、歴史を理解する。 ・話し言葉による小説に親しみ、作者の思いを読み取る。 ・評論の構成を分析し、筆者の主張を理解する。 ・論理や構成に注意しながら、説得力ある文章を書いたり、話したりすることができる。 ・短詩形作品を味わい、その魅力を感じ取る。 ・日常生活での自分たちのことばの使い方について考えを深める。 ・相手に伝えるために適切なことばを選んだり、わかりやすい資料を工夫したりして表現できる。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
国語・国語総合 （古典文的分野）	1年・生活文化科	2	展開 国語総合 改訂版（桐原書店）	
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古典に親しみ、作品の読解を通して、それぞれの時代のものの見方、感じ方、考え方について理解する。 ・ 古文を読解するための基礎的な文法力を身につけ、現代語訳ができる。 ・ 漢文訓読のための基礎的な句法に習熟し、書き下し、現代語訳ができる。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
古文入門（古）	『児のそら寝』 『母子猿』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的仮名遣いの表記に慣れ、正確に読むことができる。 ・ 登場人物の言動を通して、内容を正しく把握することができる。 ・ 用言や助動詞など基礎的な品詞への意識を持つことができる。 ・ 漢文訓読のための基礎的な知識を身につける。 ・ 漢文を正確に書き下すことができる。 ・ 鎌倉時代における生活的な背景に触れ、登場人物の心を踏まえた読解ができる。 ・ 脚注や辞書により、現代語訳ができる。 ・ 活用語とその意味を理解できる。 ・ 用言の活用を本文に即して理解できる。 ・ 助動詞の基礎を学び、正しい現代語訳ができる。 ・ 登場人物の心情に迫り、読解力を深める。 ・ 漢詩に関わる基礎的な知識を学び、その形式と表現が理解できる。 ・ 歌の技法について理解し、歌を中心とした登場人物たちの愛の形を読み取ることができる。 ・ 用言の活用や助動詞との接続に留意して、正しい現代語訳ができる。 ・ 句法に留意しながら正しい書き下しと現代語訳ができる。 ・ 韻文のリズムに触れ、詩的表現が描く世界を理解できる。 ・ 和歌の修辞技法に触れ、その表現効果の意味を理解できる。 		
漢文入門（漢）	『矛盾』『借虎威』			
随筆と日記（古）	『徒然草』 『土佐日記』			
唐詩（漢）	『春暁』他			
物語（古）	『伊勢物語』			
史伝（漢）	『管鮑之交』 『鶏口牛後』			
和歌（古）	『万葉集』～、『古今和歌集』～、『新古今和歌集』～			

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
国語・ 国語表現Ⅰ	2年・生活文化科	2	国語表現Ⅰ改訂版（教育出版）	国語表現Ⅰ改訂版（教育出版） 演習ノート（教育出版）
学習の到達度 目標	・国語で適切に表現する能力を育成し、伝えあう力を高めるとともに社会生活で生かすことのできる言語能力を養う。			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
1 ことばに 変える	ステップ1 速く正確に書き写す ステップ2 メモを取る・メモで伝える ステップ3 絵をことばにする	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の中でも最も基礎的な「視写」「聴写」を行い、自己の表現能力の実態を把握する。 ・情報を取捨選択し、整理・記録するための基本的な技術を身につける。 ・絵をことばに変える作業を通して、ことばによる表現の可能性と限界を理解する。 		
2 声の表現	ステップ1 声を出そう ステップ2 文字を声に変える ステップ3 スピーチの方法 ステップ4 声の発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸の仕組みと複式呼吸の方法について理解し、発音に留意した声の出し方を学ぶ。 ・文の構造を把握し、その意味を伝える音読の仕方や間の工夫について学ぶ。 ・スピーチのための事前準備について理解し実際にスピーチを体験することで、その方法を学ぶ。 		
3 コラムを 書く	ステップ1 コラムを読む ステップ2 コラムを書く ステップ3 本を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・コラムを読み、文章の魅力と効果的な手法を見つける。 ・コラムを書き、基礎的な推敲の方法について理解する。 ・本作りの過程を理解し、コラム集を作製する。 		
4 ことば遊 びと創作	ステップ1 ことば遊び ステップ2 川柳を作ってみよう ステップ3 広告コピーを作ってみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なことば遊びの体験を通して、言語表現の多様な側面を理解し、また、その楽しさを知る。 ・川柳という伝統的な文芸ジャンルについて理解を深めるとともに、実作を通して、ことばの持つ批評性を知る。 ・情報化社会における広告の意味とその特徴を理解し、「広告コピー」を作成することで情報を客観的にとらえ、批評的に読み取れることを学ぶ。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
国語・ 国語表現 I	3年・生活文化科	1	国語表現 I 改訂版 （教育出版）	
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力の一つである言語表現の基礎的な知識と技術を学ぶ。 ・多様な立場や観点が接触・交流する現代に必要な総合的な表現力を養う。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
声の表現	声を出そう（発声・発音） 文字を声に変える スピーチの方法 声の発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・声を出すための呼吸法を学ぶ。 ・文の意味を考えた読み方を工夫する。 ・自分の思いを伝える為のスピーチを工夫する。 ・発表会を行い、お互いに評価し合うことで、相手に伝わるスピーチの方法を確認する。 		
コラムを書く ・本を作る	コラムを読む コラムを書く 本を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんなコラムを読んで、コラムの書き方を学ぶ。 ・読み手の興味を引く題材を選ぶ。 ・題材に応じた文体を工夫する。 ・本を作る行程を学ぶ。 		
小論文・レポート を書く	小論文を書くために 「意見」を育てる方法 構想ノートの作り方 小論文作品例と相互批評	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題が何を求めているか性格に把握する。 ・自分の言いたいことの中核となる「主題文」を作る。 ・自分の意見と反対の意見についても考えてみる。 ・文章の構想をしっかりと立てて小論文を書く。 		
言葉遊びと創作	ことば遊び 川柳を作ってみよう 広告コピーを作ってみよう	<ul style="list-style-type: none"> ・先人たちによって編み出された言葉遊びの楽しさを感じ取り、定型詩の中でも制約の少ない川柳を作ってみよう。 ・広告コピーは簡潔な言葉でいかに強い印象を与えるかを知り、実際に広告コピーを作ってみよう。 		
言葉と人間	言葉の性質を知る 関係にはたらきかけることば 単語の由来を探る	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の並び方によって、同じ言葉が使われていても全く異なる文意になることを知る。 ・使われる状況や場面によって言葉の意味が異なるという性質を知る。 ・良い人間関係を作るための言葉使いについて考える。 		
会話・会議・発表	会話の目的と機能 意志決定・合意形成のための会議	<ul style="list-style-type: none"> ・会議のルールを知り、実際に会議を運営、発表してみる。 		
自己との対話	年譜を作ろう 材料を集めよう 自分史を書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が生まれてから今までの社会の出来事や流行したものなどを調べ、自分の過去を振り返り、自分史を作る。 		
情報の海を航海する	メディアの特性を知る 新聞記事を読み比べる	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアのしくみや働きを知り、道具として主体的に使いこなす力をつける。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
地歴・世界史 A	2年・普通科 1年・生活文化科	2	『明解 新世界史 A』 （帝国書院）	『プロムナード世界史』 （浜島書店）
学習の到達度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「現在」に至るまでの歴史的道筋を大まかに理解する。 ・日本史との関連に注目し、世界史上における自分たちの位置を認識する。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
1 部 諸地域世界 と交流圏	序章 人類のはじまり 1章 東アジア世界 2章 南アジア世界 3章 東南アジア世界 4章 イスラーム世界 5章 ヨーロッパ世界 6章 南北アメリカ 7章 ユーラシアの交流圏	<ul style="list-style-type: none"> ・人類の発生・進化の過程や、農耕・牧畜による食料生産革命、文明の成立など人類史について概観し、広大な時空のスケールを意識する。 ・ユーラシアを中心に形成された諸地域世界の特徴を構造的視野から把握した上で、風土、民族、宗教などに関する基本的知識を身につける。 		
2 部 一体化に向 かう世界	1章 繁栄するアジア 2章 大航海時代を迎えるヨーロッパ 3章 ヨーロッパとアメリカの諸革命 4章 自由主義・ナショナリズムの進展 5章 アジア諸国の動揺 6章 東アジアの大変動	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した支配と経済を背景に出現したアジア文化の黄金期について理解する。 ・世界の一体化がどのような経緯で行われ、現在の世界とどのようにリンクしているのか考察する。 ・現在の「国家」の定義について、基本的な知識が身につける。 		
3 部 現代の世界 と日本	1章 現代世界の芽生え 2章 第一次世界大戦がもたらしたもの 3章 ”民族自決”を求めて 4章 経済危機から第二次世界大戦へ 5章 冷たい戦争の時代 6章 現在に続く世界の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ナショナリズムとは何か、ということについて自ら考え、自国の歴史について冷静に分析する力を身につける。 ・「なぜ世界大戦が2度も発生することになったのか」ということについて、これからの世界を生きる人間として真剣に考える。 ・政治的・経済的な基本知識を身につける。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
地歴・世界史 B	2年・普通科	2	『高等学校 改訂版世界史 B 人、暮らしがあふれる歴史』（第一学習社）	『プロムナード世界史』（浜島書店）
学習の到達度目標	・日本史と世界史が不可分の関係にあることをふまえ、東アジア地域世界やユーラシア世界との接触と交流について理解する。			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
第 1 章 諸地域世界の形成	1 人類の出現と文明の誕生 2 西アジア・地中海世界 3 南アジア世界の形成 4 東アジア・内陸アジア世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・人類史についての基本的な知識を身につける。 ・西アジア、南アジア、東アジアについて、基本的な地勢や気候について理解する。 ・それぞれの地域の宗教や文化についての理解を深める。 ・それぞれの地域の生活や政治の在り方には宗教が深く関わっていることに気づく。 		
第 2 章 諸地域世界の交流と再編	1 イスラーム世界の形成と拡大 2 ヨーロッパ世界の形成と変動 3 内陸アジアの動向と諸地域世界	<ul style="list-style-type: none"> ・8世紀以降の諸地域世界の交流の深まりについて考察する。 ・イスラーム教とキリスト教の成立過程について基本的な知識を身につける。 ・ユーラシアを舞台に展開されていた海域世界・遊牧社会・地中海世界・東アジア海域について、世界地図上で正しく位置を把握した上でイメージする力を身につける。 		
第 3 章 諸地域世界の一体化	1 アジア諸帝国の繁栄と成熟 2 ヨーロッパの拡大と大西洋世界 3 ヨーロッパ主権国家体制の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀に成立したアジアの大帝国についての基本的な知識を身につける。 ・大航海時代の背景やその後の世界の動きについてを連動的に理解する。 ・ヨーロッパで芽生えた「主権国家」という概念について、現代社会の知識と照らし合わせた上で分析する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
地歴・日本史 B	文系 2年・普通科	2年 2	高等学校 日本史 B 改訂版 （清水書院）	2年 プロムナード日本史（浜島書店） ゼミナル日本史（浜島書店）
	文系 3年・普通科	3年 4		3年 新編日本史図表（第一学習社）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開を、世界的視野に立って総合的に考察する。 我が国の文化と特色に関する認識を深めることによって、歴史的思考力を培う。 日本国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
原始・古代	<p>日本文化のあけぼの</p> <p>古代国家の形成と東アジア</p> <p>古代国家の成立と都城</p> <p>古代国家の推移と社会の変化</p> <p>武家政権の成立と鎌倉文化</p> <p>室町幕府と北山文化</p> <p>下剋上の社会と庶民の台頭</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や大陸からの文化の影響による生活の変化に着目し、旧石器文化、縄文文化及び弥生文化について理解する。 東アジア世界との交流に着目して、古代国家の形成過程と古墳文化、飛鳥文化について理解する。 律令体制の確立過程と、天平文化について理解する。 東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の・台頭など地方の動向に着目して、古代国家の推移と国風文化の展開について理解する。 武士の土地支配と公武関係、宋・元とのかかわりに着目して、武家政権の形成過程と鎌倉文化について理解する。 室町幕府の成立過程・政治機構と、北山文化について理解する。 庶民の台頭に着目して、産業経済の発展や下剋上など中世社会の多様な展開及び東山文化や庶民文化について理解する。 		
中世	<p>織豊政権と桃山文化</p> <p>幕藩体制の成立と鎖国</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界史的な視点で日本へのヨーロッパ人の来航を捉え、その刺激を受けて、戦国時代が織田信長・豊臣秀吉によって統一されていく過程を理解する。 江戸幕府による大名統制と農民統制の徹底が幕藩体制の安定につながっていく経過を理解する。そしてその安定がやがてキリスト教禁止を原因として鎖国体制へ推移していく過程を理解する。 		
近世	<p>幕藩体制の展開と元禄文化</p> <p>幕藩体制の動揺と化政文化</p> <p>開国と明治維新</p> <p>立憲国家の成立と国際関係</p> <p>近代産業の発展と国民生活</p> <p>第一次世界大戦と日本の経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> 武断政治から文治政治への転換の背景を捉え、その根幹には諸産業と流通の発展があることを理解する。 享保・寛政・天保の諸改革の政策を把握し、なぜ幕府が改革を断行せざるを得なかったのか、その社会的背景を理解する。 世界的視野に立って、開国から倒幕に至る政治過程を理解する。また明治政府が行おうとした政策を理解する。 明治政府が自由民権運動を経験し、立憲体制を確立する過程と政体の実態を理解する。 日本の産業革命の過程を整理し、その変化が社会にもたらした影響を理解する。 大正政変から第一次世界大戦参戦までの政治過程と、その後の日本社会の変化を国際情勢と関連づけて理解する。 		
近・現代	<p>政党政治の発展と大衆文化</p> <p>軍国日本の形成と第二次世界大戦</p> <p>戦後日本の国家再編と国民生活</p> <p>国際社会の動向と高度経済成長</p> <p>激動する世界と日本</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本で最初の本格的政党内閣である原敬内閣の成立過程と、政策の内容について理解し、それを成立させた第二次護憲運動とその根底にある大正デモクラシーの風潮なども総括的に理解する。 日中戦争、太平洋戦争へと至る政治的過程を理解する。 占領政策と諸改革など、日本の再出発と新しい政治や外交の推移について、国際関係を基盤に理解する。 日本経済の発展と国民生活の向上について、生活意識などに基づいて理解する。 日本の課題および役割について、国際理解の推進などの観点から理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
地歴・日本史 B	理系 2年・普通科	2年 2	高等学校 日本史 B 改訂版 （清水書院）	2年 プロムナード 日本史（浜島書店） ゼミナル 日本史（浜島書店）
	理系 3年・普通科	3年 2		3年 新編 日本史図表（第一学習社）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開を、世界的視野に立って総合的に考察する。 我が国の文化と特色に関する認識を深めることによって、歴史的思考力を培う。 日本国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
原始・古代	日本文化のあけぼの 古代国家の形成と東アジア 古代国家の成立と都城 古代国家の推移と社会の変化 武家政権の成立と鎌倉文化 室町幕府と北山文化 下剋上の社会と庶民の台頭	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や大陸からの文化の影響による生活の変化に着目し、旧石器文化、縄文文化及び弥生文化について理解する。 東アジア世界との交流に着目して、古代国家の形成過程と古墳文化、飛鳥文化について理解する。 律令体制の確立過程と、天平文化について理解する。 東アジア世界との関係の変化、荘園・公領の動きや武士の・台頭など地方の動向に着目して、古代国家の推移と国風文化の展開について理解する。 武士の土地支配と公武関係、宋・元とのかかわりに着目して、武家政権の形成過程と鎌倉文化について理解する。 室町幕府の成立過程・政治機構と、北山文化について理解する。 庶民の台頭に着目して、産業経済の発展や下剋上など中世社会の多様な展開及び東山文化や庶民文化について理解する。 		
中世	織豊政権と桃山文化 幕藩体制の成立と鎖国	<ul style="list-style-type: none"> 世界史的な視点で日本へのヨーロッパ人の来航を捉え、その刺激を受けて、戦国時代が織田信長・豊臣秀吉によって統一されていく過程を理解する。 江戸幕府による大名統制と農民統制の徹底が幕藩体制の安定につながっていく経過を理解する。そしてその安定がやがてキリスト教禁止を原因として鎖国体制へ推移していく過程を理解する。 		
近世	幕藩体制の展開と元禄文化 幕藩体制の動揺と化政文化 開国と明治維新 立憲国家の成立と国際関係 近代産業の発展と国民生活 第一次世界大戦と日本の経済	<ul style="list-style-type: none"> 武断政治から文治政治への転換の背景を捉え、その根幹には諸産業と流通の発展があることを理解する。 享保・寛政・天保の諸改革の政策を把握し、なぜ幕府が改革を断行せざるを得なかったのか、その社会的背景を理解する。 世界的視野に立って、開国から倒幕に至る政治過程を理解する。また明治政府が行おうとした政策を理解する。 明治政府が自由民権運動を経験し、立憲体制を確立する過程と政体の実態を理解する。 日本の産業革命の過程を整理し、その変化が社会にもたらした影響を理解する。 大正政変から第一次世界大戦参戦までの政治過程と、その後の日本社会の変化を国際情勢と関連づけて理解する。 		
近・現代	政党政治の発展と大衆文化 軍国日本の形成と第二次世界大戦 戦後日本の国家再編と国民生活 国際社会の動向と高度経済成長 激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> 日本で最初の本格的政党内閣である原敬内閣の成立過程と、政策の内容について理解し、それを成立させた第二次護憲運動とその根底にある大正デモクラシーの風潮なども総括的に理解する。 日中戦争、太平洋戦争へと至る政治的過程を理解する。 占領政策と諸改革など、日本の再出発と新しい政治や外交の推移について、国際関係を基盤に理解する。 日本経済の発展と国民生活の向上について、生活意識などに基づいて理解する。 日本の課題および役割について、国際理解の推進などの観点から理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
地歴・地理 A	2年・普通科	2	高等学校 新地理 A 初訂版（帝国書院）	高等学校 新地理 A ノート初訂版（帝国書院）
学習の到達度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察する。 ・地理的な見方や考え方を養う。 ・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
私たちの地球をみつめる	球面状の世界と地域構成	<ul style="list-style-type: none"> ・世界地図の見方・利用法、絶対位置のとらえ方を理解する。 ・地球の形や運動を理解し、それが及ぼす影響を考察する。 ・時差の仕組みを考え、球面上の世界で生活している認識をもつ。 ・球面上の世界と地域構成を、地球儀と世界地図との比較や略地図を通して理解する。 ・地球儀と世界地図を活用して日本との関係を考察し、日本の位置・領域に関する特色を理解する。 ・現代世界とその変化に対する関心をもつ。 ・交通、通信の発達、人や物の国際間の移動などの地域性や動向を考察する。 ・主題図や統計を通して、国家間の結合や国際貿易が活発化していることを理解する。 		
	結びつく現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本に関する身近な情報に関心をもつ。 ・世界や日本に関する身近な情報を収集し、地域性と関連づけて考察する。 ・経済発達するとともに、消費や余暇に関する人々の行動、観光、ボランティア活動などの国際化が進展していることを理解する。 		
さまざまな地域の生活と環境	人間生活を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料から地理情報を取得し、適切に活用する。 ・世界の諸地域の生活様式や文化に関心をもつ。・世界の地形や気候の違いとその特徴を、農業、生活などとの関わり合いで考察する。 		
	世界の諸地域の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・世界諸地域の生活や文化を、自然環境要素や地域性、民族性と関連づけて、多面的に考察する。 ・異文化を適切に理解することの意義を学ぶ。 		
	近隣諸国の生活・文化と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国やロシアの生活様式や生産活動に関心をもつ。 ・近隣諸国の生活や文化の特色を、日本との共通性や異質性に着目して考察する。 		
地球的にひろがる課題	地球的課題と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣諸国の人々とともに生きていくことの意義を学ぶ。 ・現代世界が抱えている地球的な様々な問題に関心をもつ。 ・環境、資源、エネルギー、人口、食料及び居住や都市問題を、地域の環境条件と関連づけて考察する。 ・地球的課題の解決には、国際協力が必要であることを理解する。 ・地球的課題の解決にあたって今後取り組むべき問題や自己の立場をまとめ、発表する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
地歴・地理 B	2年・普通科 （理系）	2	高等学校 世界地理 B （帝国書院）	地歴高等地図-現代世界 とその歴史的背景-最新 版（帝国書院）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地理的現象に関心や知識を深める。 ・系統地理的、地域的な探求の方法を学ぶ学習を通して、地理的な見方や考え方や地理的技能を身につける。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
自然環境の多様性	世界の地形と人々 世界の気候と人々	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地形の概要と分布について理解する。 ・河川が作る地形や海岸の地形などについて形状を理解するとともに、人間生活との関連を考察する。 ・世界には種々の気候が存在することを理解する。 ・気候分布、成因、特徴を理解するとともに、人間生活との関連を考察する。 		
世界の生活と文化	世界の衣食住 世界の都市と村落 消費・余暇活動の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で衣食住に代表される生活文化が異なることを理解するとともに、共通性と特殊性を生み出す原因について考察する。 ・世界各地の都市、村落の発生、発達、現状を理解し、それによって生じる都市問題の一般的共通性、地域的特殊性について理解し、考察する。 ・世界各地の消費、余暇活動の一般的共通性と地域的特殊性を理解する。消費、余暇活動の変化の背景にある社会の変化について考察する。 		
世界の産業	世界の農業 世界の鉱工業	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の農業の一般的共通性と地域的特殊性を理解する。農業と自然環境、農業と社会環境との関連を理解する。 ・世界各地の鉱工業や資源、エネルギーの一般的共通性と地域的特殊性を理解する。 		
現代世界の諸地域 と近隣諸国の調査	地域のスケールと調査の視点 市町村規模の地域の調査 国規模の地域の調査 州・大陸規模の地域の調査 近隣諸国の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・地域調査の意義と技法について理解する。 ・市町村規模の地域の調査の技法を習得する。対象とする地域と自らの距離に応じて調査方法が異なることを理解する。 ・国規模の地域調査の技法を習得するとともに、対象地域であるアメリカやインドの特色について理解する。 ・州や大陸規模の地域調査の技法を習得するとともに、対象地域である東南アジアや中央アジア、ヨーロッパの特色について理解する。 ・中国や韓国などの近隣諸国の特色について理解する。 		
現代世界の地理的 認識	地図でとらえる現代世界 地域区分でとらえる現代世界 結びつきを強める現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・地図が世界の諸事象を表現していることを理解する。 ・世界は事象によって地域区分されることを理解するとともに地域区分をすることで、世界をよりの確に把握できることを理解する。 ・国家や国家群による世界の結びつき、交通・通信の発達による社会の変化、貿易による国家・地域間の結合を理解するとともに、世界の中で地域は孤立して存在し得ないことを理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
地歴・世界史 B	3年・普通科	4	『高等学校 改訂版 世界史B 人、暮らしがあふれる歴史』 (第一学習社)	『プロムナード世界史』 (浜島書店)
学習の到達度 目標	・世界史の大きな流れと枠組みを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
第 3 章 諸地域世界 の一体化	3 ヨーロッパ主権国家体制の成立	・「国家」の概念について理解し、この概念が発生した歴史的背景について考察する。		
第 4 章 諸地域世界 の変容	1 アメリカとフランスの革命 2 産業革命 3 19世紀のヨーロッパ 4 アメリカ合州国の膨張 5 世界市場の形成とアジア諸国 6 帝国主義と世界の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命がもたらした生活の変化と現代へのつながりを意識する。 ・西部への領土拡張と移民の流入、先住民や黒人に対する抑圧がアメリカの国民形成に独自の性格を与えたことを理解する。 ・ヨーロッパを中心とするアジアでの国際分業体制の形成について、近代世界システム論の視点から追究し、19世紀の世界の一体化とその特質を考察する。 		
第 5 章 地球世界の 形成	1 第1次世界大戦と民族主義の展開 2 ファシズムの台頭と第二次世界大戦 3 米ソ冷戦と第三勢力 4 冷戦の終結と地球社会の到来 5 国際対立と国際協調 6 科学技術の発達と現代文明	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・アフリカ諸国の植民地化の過程を地図上で視覚的にとらえ、現在の民族紛争等と結びつけて理解する。 ・第一次世界大戦後の世界の変化について、第二次世界大戦へとつながった問題点を含め、多角的に考察する。 ・第二次世界大戦の性格について、現在まで残る諸問題にも着目しながら考察する。 ・冷戦の背景について、第二次世界大戦中の国際関係も復習しながら多角的に考察する。 ・1970年代から現在までの地球社会形成に向けての諸地域世界の情勢に関する資料を活用し、基本的知識を身につける。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
地歴・地理B	3年・普通科	2	世界地理B （帝国書院）	
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察する。 ・地理的な見方や考え方を養う。 ・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
現代世界の諸地域と近隣諸国の調査	国規模の地域の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の国家を事例としていくつか取り上げ、それらの地域性を多面的、多角的に考察してそれぞれの国を地誌的にとらえるとともにそれらを比較し関連付けることを通して国家規模の地域を地誌的にとらえる視点や方法を身につける。 ・世界の州、大陸を事例としていくつか取り上げ、それらの地域性を多面的、多角的に考察してそれぞれの州、大陸を地誌的にとらえるとともにそれらを比較し関連付けることを通して州、大陸規模の地域を地誌的にとらえる視点や方法を身につける。 ・近隣諸国の生活、文化を地域の環境条件と関連付けて追究し、日本との共通性や異質性及び異文化を理解し尊重することの必要性をとらえるとともに、近隣諸国との交流の在り方や日本の役割などについて考察する。 ・世界の資源、エネルギーや農業、工業、流通などから系統地理的にとらえる視点や方法を学習するのに適切な事例をいくつか取り上げ、世界の資源、産業を理解する。 ・人口、食料問題を世界的視野から地域性を踏まえて追究し、それらは地球的課題であるとともに各地域によって現れ方が異なっていることをとらえ、その解決には地域性を踏まえた国際協力が必要であることについて考察する。 ・環境問題を世界的視野から地域性を踏まえて追究し、それらは地球的課題であるとともに各地域によって現れ方が異なっていることをとらえ、その解決について多角的、多面的に考察する。 		
	州・大陸規模の地域の調査			
	近隣諸国の研究			
世界の産業	世界の農業 世界の鉱工業			
現代世界の諸課題と解決への地理的アプローチ	人口・食料問題			
	環境問題 民族・領土問題			

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
地歴・日本史 A	2年・生活文化科	2	高等学校 改訂版 日本史 A 人・くらし・未 来（第一学習社）	
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的イベントをその発生状況から影響に至るまで論理的、多角的に捉えられるようにする。 ・過去の歴史を学ぶことにより、現在及び未来へ生きる手立てとなるようにする。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
第1章 近代日本の 形成と19世 紀の世界	国際環境の変化と幕藩 体制の動揺 明治維新と近代国家の 形成	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の鎖国下での日本の対外関係、産業、教育や学問、思想などの発展について理解する。 ・開国に至る経緯と幕府の対応、幕府が崩壊する一連の流れについて理解する。 ・廃藩置県や封建的身分制度の撤廃など、明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。 ・明治政府の中央集権化、藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定、国会開設に至る一連の動きを理解する。 ・明治政府の初期の外交政策を欧米とアジア諸国を比較しながらその違いについて考察する。 		
2章 近代日本の あゆみと国 際関係	国際関係の推移と近代 産業の成立 政党政治の展開と大衆 文化の形成 第二次世界大戦と日本 歴史と生活	<ul style="list-style-type: none"> ・明治前半の最大の外交課題である条約改正の克服に国際情勢と国内情勢の推移が密接に関係していることを理解する。 ・日清、日露戦争のおこった原因とその結果について理解し、その後の日本のアジアへの勢力拡張に結びつける。 ・日本の資本主義が確立・発展した経緯を理解するとともに、それとともにさまざまな社会問題が発生したことを理解する。 ・明治後半～大正期の政党政治の成立と、その背景にあったデモクラシーの風潮の高まりについて理解する。 ・第一次世界大戦が日本に与えた経済的影響について理解する。 ・太平洋戦争に至る過程を国内不況、軍部の台頭、国際関係の変化、国民生活の観点から着目する。 ・日本がアジア諸国に与えた影響について考察する。 ・電話を中心とした交通、通信手段の変遷や日本人の旅の変遷を当時の時代背景と関連させながら理解する。 		
3章 第二次世界 大戦後の日 本と世界	戦後の政治と社会 経済国家としての発展 現代日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後の連合国による占領政策、憲法の制定過程と内容の特徴、経済復興の過程、国民生活、複雑な国際情勢の観点から考察する。 ・高度経済成長の実態とその歴史的意義について理解する。 ・高度経済成長における社会の変化と問題について考察する。 ・石油危機にともなう日本国内の動きを国際情勢の動向をふまえて理解する。 ・冷戦後の国際情勢と55年体制の崩壊という国内情勢について理解する。 ・現在の日本が抱える諸課題について、国際社会での役割、国内的な問題という観点から考察する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
地歴・地理 A	2年・生活文化科	2	高等学校 新地理 A 初訂版（帝国書院）	
学習の到達度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察する。 ・地理的な見方や考え方を養う。 ・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
私たちの地球をみつめる	球面状の世界と地域構成	<ul style="list-style-type: none"> ・世界地図の見方・利用法、絶対位置のとらえ方を理解する。 ・地球の形や運動を理解し、それが及ぼす影響を考察する。 ・時差の仕組みを考え、球面上の世界で生活している認識をもつ。 ・球面上の世界と地域構成を、地球儀と世界地図との比較や略地図を通して理解する。 ・地球儀と世界地図を活用して日本との関係を考察し、日本の位置・領域に関する特色を理解する。 ・現代世界とその変化に対する関心をもつ。 ・交通、通信の発達、人や物の国際間の移動などの地域性や動向を考察する。 ・主題図や統計を通して、国家間の結合や国際貿易が活発化していることを理解する。 		
	結びつく現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本に関する身近な情報に関心をもつ。 ・世界や日本に関する身近な情報を収集し、地域性と関連づけて考察する。 ・経済発達するとともに、消費や余暇に関する人々の行動、観光、ボランティア活動などの国際化が進展していることを理解する。 		
さまざまな地域の生活と環境	人間生活を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料から地理情報を取得し、適切に活用する。 ・世界の諸地域の生活様式や文化に関心をもつ。・世界の地形や気候の違いとその特徴を、農業、生活などとの関わり合いで考察する。 		
	世界の諸地域の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・世界諸地域の生活や文化を、自然環境要素や地域性、民族性と関連づけて、多面的に考察する。 ・異文化を適切に理解することの意義を学ぶ。 		
	近隣諸国の生活・文化と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国やロシアの生活様式や生産活動に関心をもつ。 ・近隣諸国の生活や文化の特色を、日本との共通性や異質性に着目して考察する。 		
地球的にひろがる課題	地球的課題と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣諸国の人々とともに生きていくことの意義を学ぶ。 ・現代世界が抱えている地球的な様々な問題に関心をもつ。 ・環境、資源、エネルギー、人口、食料及び居住や都市問題を、地域の環境条件と関連づけて考察する。 ・地球的課題の解決には、国際協力が必要であることを理解する。 ・地球的課題の解決にあたって今後取り組むべき問題や自己の立場をまとめ、発表する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
公民・現代社会	1年・普通科	2	新版 現代社会 （実教出版）	現代社会演習ノート （実教出版）
学習の到達度 目標	1 現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。 2 現代社会の基本的な問題について主体的に考え、公正に判断する力や人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養う。 3 自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加、協力する態度を身につける。			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
現代に生きるわたしたちの課題	資源・エネルギー問題 科学技術の発達と生命 日常生活と宗教・芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物は不法投棄により深刻な環境問題を引き起こしていることや産業廃棄物を排出した事業者の責任が拡大していることに着目する。 ・循環型社会の実現に向けて、日本の取り組みを理解する。 ・科学技術の発達によって生命や死に対するとらえ方に変化が生じていることを理解する。 ・遺伝子の解読による長所と短所を比べる。 ・世界の三大宗教について理解すると同時に日本人の宗教観について考察する。 		
現代の社会と人間	現代の社会生活と青年 現代の経済社会と国民生活 現代の民主政治と日本国憲法 国際社会と人類の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義と自己形成の課題について考察し、青年としての生き方を自覚する。 ・激動する経済社会について様々な角度から理解を深め、個人や企業の経済活動における社会的責任について考察する。 ・日本国憲法の基本原則と政治機構、民主政治における世論形成と政治参加の意義などを理解し、民主政治において主体的に生きる人間としてのあり方生き方を考察する。 ・主権や国際政治、国際経済などの諸問題を理解させ、国際社会における日本の役割や日本人の生き方を考察する。 ・国際政治は国連を中心として、国際経済は貿易や為替を中心として身近な問題として考える。 ・人類が直面している諸課題を理解させ、課題を克服するためにはどのような取り組みが必要かを考える。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
公民・政治・経済	3年・普通科（文系）	2	新版 政治・経済 （実教出版）	現代まるわかりBOOK （第一学習社）
学習の到達度目標	1 特に現代日本の政治に着目しながら、政治の基礎的な知識を習得する。 2 身近な事象から経済的なものの見方、考え方を養う。 3 現代日本が抱える様々な課題を学び、これからの日本の在り方を考える。			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
現代の政治	現代国家と民主政治 日本国憲法と基本的人権 日本の政治機構と政治の課題 現代の国際政治 日本の平和主義と国際平和	<ul style="list-style-type: none"> 人権保障、国民主権、法の支配など、民主主義の原理やその発展について理解する。 日本国憲法の成立過程をふまえ、憲法の三大原理を把握する。 日本国憲法における基本的人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。 国会、内閣、裁判所、地方自治など日本の統治機構に関する理解を深め、またその課題について考察する。 日本の政党政治や選挙制度の特質を理解させるとともに、望ましい政治や参政のあり方について考察する。 国際社会や国際法に関する基本的な理解を深め、国連をはじめ国際機関の役割について考える。 日本国憲法における平和主義の意義と冷戦終結後の日本の安全政策のあり方を考える。 		
現代の経済	経済社会の変容 現代経済のしくみ 現代の日本経済と福祉の向上 現代の国際経済	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義や社会主義という経済体制の特質を理解させ、その変容を概観する。 市場のはたらきや国民所得、景気変動など経済の基本的事柄に対する理解を深める。 バブルとその崩壊後の不況という現状に至る日本経済の流れを追い、経済成長や景気変動、金融や財政政策という理論的既習事項を現実の歴史の中で具体的に把握する。 貿易の意義や国際収支、為替相場の仕組みといった国際経済の基本的な事項を理解する。 		
現代社会の諸課題	大きな政府と小さな政府 産業構造の変化と中小企業 労使関係と労働市場 少子高齢化と社会保障 核兵器と軍縮 国際経済格差の是正と国際協力	<ul style="list-style-type: none"> 現在の経済では政府の果たす役割が大きい、同時に財政規模が拡大し、財政赤字が増大していることをふまえて、大きな政府と小さな政府の主張を比較する。 産業構造が高度化し、経済のサービス化、ソフト化が進む中で、中小企業はどのような分野で発展していくことが可能かを考察する。 国際化の流れの中で日本型雇用に変化が見られることを理解すると同時に、若者や女性の労働のあり方を考察する。 少子高齢化の進展にともない、日本の社会保障はどのような課題に直面しているかについて年金制度を中心に考察する。 東西冷戦時代の核軍拡競争や核軍縮に向けた取り組みを理解する。 先進国が、南北問題にどのように対応してきたのかを理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
公民・現代社会	3年・生活文化科	2	新版 現代社会 （実教出版）	現代社会演習ノート （実教出版）
学習の到達度 目標	1 現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。 2 現代社会の基本的な問題について主体的に考え、公正に判断する力や人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養う。 3 自らの個性を発揮し、文化・福祉の向上、発展に貢献する能力と平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加、協力する態度を身につける。			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
現代に生きるわたしたちの課題	資源・エネルギー問題 科学技術の発達と生命 日常生活と宗教・芸術	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物は不法投棄により深刻な環境問題を引き起こしていることや産業廃棄物を排出した事業者の責任が拡大していることに着目する。 循環型社会の実現に向けて、日本の取り組みを理解する。 科学技術の発達によって生命や死に対するとらえ方に変化が生じていることを理解する。 遺伝子の解読による長所と短所を比べる。 世界の三大宗教について理解すると同時に日本人の宗教観について考察する。 		
現代の社会と人間	現代の社会生活と青年 現代の経済社会と国民生活 現代の民主政治と日本国憲法 国際社会と人類の課題	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の意義と自己形成の課題について考察し、青年としての生き方を自覚する。 激動する経済社会について様々な角度から理解を深め、個人や企業の経済活動における社会的責任について考察する。 日本国憲法の基本原則と政治機構、民主政治における世論形成と政治参加の意義などを理解し、民主政治において主体的に生きる人間としてのあり方生き方を考察する。 主権や国際政治、国際経済などの諸問題を理解させ、国際社会における日本の役割や日本人の生き方を考察する。 国際政治は国連を中心として、国際経済は貿易や為替を中心として身近な問題として考える。 人類が直面している諸課題を理解させ、課題を克服するためにはどのような取り組みが必要かを考える。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
数学・数学 I	1 年・普通科	4	改訂版 数学 I （数研出版）	クリアー数学 I + A（数研出版） 練習ドリル数学 I（数研出版）
学習の到達度 目標	・方程式と不等式，2 次関数及び図形と計量について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
方程式と不等式	式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整式に関する用語を理解し、加法・減法・乗法の計算ができる。 ・ 因数分解の公式を正確に利用でき、また、式の形の特徴に着目して変形、因数分解の公式が適用できるようにすることができる。 ・ 実数の分類ができ、絶対値を含む計算ができる。 ・ 根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また分母の有理化ができる。 ・ 不等式の性質について理解し、1 次不等式・連立 1 次不等式を解くことができる。 ・ 因数分解利用、解の公式利用を理解して、2 次方程式を解くことができる。 ・ 2 次方程式が実数解や重解をもつための条件を、式で示すことができる。 		
	実数 1 次不等式と 2 次方程式			
2 次関数	2 次関数とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平方完成を利用して、2 次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 ・ 与えられた条件から、2 次関数を決定できる。 ・ 最大・最小の応用問題に 2 次関数を利用できる。 ・ 2 次関数のグラフと x 軸の共有点に着目して、2 次関数と 2 次方程式の関連を理解することができる。 ・ 2 次関数のグラフを利用し、2 次不等式を解くことができる。 ・ 2 次不等式を利用する応用問題を解くことができる。 		
	2 次不等式			
図形と計量	三角比	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。 ・ 三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考えることができる。鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察することができる。 ・ 正弦定理、余弦定理と三角形の面積を求める公式を導いて、それらを活用することができる。 ・ 空間図形の計量に正弦定理や余弦定理を利用できる。 ・ 三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。 ・ 球の表面積、体積を求めることができる。 ・ 相似な図形の面積比や体積比を考察することができる。 		
	正弦定理と余弦定理			
	図形の計量			

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
数学・数学 I	1年・生活文化科	3	改訂版 数学 I （知研出版）	F o l l o w - U p ノート 数学 I（知研出版）
学習の到達度 目標	・方程式と不等式、2次関数及び図形と計量について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
方程式と不等式	数と式 方程式と不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・整式に関する用語を理解し、加法・減法・乗法の計算ができる。 ・公式などを利用して整式の展開や因数分解ができる。 ・根号を含む式の計算ができ、分母の有理化について基本的な計算ができる。 ・実数の分類ができ、実数についての概念を理解することができる ・不等式の意味と性質について理解し、1次不等式・連立1次不等式を解くことができる。 ・因数分解利用、解の公式の利用を理解して、2次方程式を解くことができる。 ・判別式を利用して2次方程式の解の個数を求めることができる。 		
2次関数	2次関数のグラフ 2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数のグラフに関する用語や特徴が理解できる。 ・2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 ・グラフを利用して、2次関数の最大値・最小値を求めることができる。 ・与えられた条件から、2次関数を決定できる。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点に着目して、2次関数と2次方程式の関連を理解することができる。 ・2次関数のグラフを利用し、2次不等式を解くことができる。 		
図形と計量	三角比 三角形への応用 図形の面積・体積	<ul style="list-style-type: none"> ・相似な図形の直角三角形における角と辺の関係により三角比の用語や意味を理解できる。 ・三角比の値を利用して、いろいろな高さや長さなどを求めることができる。 ・三角比の性質、三角比の拡張について考察することができる。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。 ・球の表面積、体積を求めることができる。 ・相似な図形の面積比や体積比を考察することができる。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書 (出版社)	使用教材 (出版社)
理科・理科総合A	1年・普通科 2年・生活文化科	2	高等学校理科総合A 改訂版(啓林館)	ラブラシア 理科総合A (啓林館)
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して、エネルギーと物質の成り立ちを中心に、自然の事物・現象について理解を深める。 ・人間と自然との関わりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を育てる。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
物質と人間生活 1章 物質の構造	1 物質の構成	<ul style="list-style-type: none"> ・物質の分類ができるようになる。 ・混合物と純物質の違いを利用して、混合物から純物質を分離する方法を理解する。 ・元素の概念と元素の確認法を理解する。 		
	2 物質をつくる粒子とその結びつき	<ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造を理解し、原子の電子配置と原子同士の結合、周期表との関係を理解する。 ・物質は原子・分子・イオンなどの粒子から構成されていることを理解する。 ・組成式、分子式、構造式が書けるようになる。 		
	3 物質の量	<ul style="list-style-type: none"> ・原子量・分子量・式量について理解し、物質の質量・体積と粒子の個数の関係を理解する。 		
2章 物質の変化	1 化学変化と物理変化	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化と物理変化の違いについて理解し、化学反応式が書ける。 ・化学変化の量的関係が計算できる。 ・化学変化とエネルギーの関係と溶液の濃度について理解する。 		
	2 酸・塩基の中和反応とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・酸と塩基の性質、価数、強弱について理解する。 ・pHで酸と塩基の強弱が表されることを理解する。 ・中和反応について理解する。 		
	3 酸化還元反応とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・酸化還元反応が電子の移動で起こることを理解する。 ・酸化剤・還元剤の働きや、金属のイオン化傾向を理解する。 ・電池の仕組みと電気分解について理解する。 		
3章 物質の利用	1 日常生活と物質	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある金属・プラスチック、セラミックスなどの製品は、自然界の物質にエネルギーをつぎ込むことによって製造されていることを知り、これらの物質の原料、性質、利用法などを理解する。 		
	2 生物の作る物質	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は体内の精巧な化学反応によって、人間生活に有用な物質を作り、その物質をどのように人間が活用しているかを理解する。 		
エネルギー・資源と人間生活 1章 力学的エネルギー	1 運動と力	<ul style="list-style-type: none"> ・速さ、力、作用・反作用の法則、摩擦力、慣性の法則について理解する。 		
	2 仕事とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を定義し、仕事の原理、仕事率について理解する。 ・運動エネルギーと位置エネルギーについて理解する。 ・力学的エネルギーが保存されることを理解する。 		
2章 いろいろなエネルギー	1 熱エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・温度と分子の熱運動の関係を理解する。 ・熱量、比熱を理解する。 		
	2 電気エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・熱の移動において熱量が保存されることを理解する。 ・導体において、オームの法則が成り立つことを理解する。 ・合成抵抗、電力、電力量について理解する。 		
	3 エネルギーの変換と保存	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーの変換においてエネルギー保存の法則について理解する。 		
3章 資源の開発と利用	1 エネルギー資源の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー資源の変遷からエネルギー問題について理解を深める。 ・核エネルギーの利用について理解する。 		
	2 地下資源の利用と資源開発	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー問題と環境問題について考える。 ・地下資源の利用、成因、有限性について理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書 (出版社)	使用教材 (出版社)
理科・物理 I	2・3年・普通科 (理系)	4	高等学校 物理 I 改訂版 (数研出版)	トライアルノート物理 I (数研出版) 物理実験テキスト (富山県理化学会)
学習の到達度 目標	・物理的な事物・現象についての観察、実験や課題研究などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
運動とエネルギー				
1章 運動の表し方	1. 直線運動の速度 2. 直線運動の加速度 3. 落体の運動	<ul style="list-style-type: none"> ・速さと速度の違いや、加速度について理解する。 ・等加速度運動等の基本的な式を理解する。 		
2章 運動の法則	1. いろいろな力 2. 力のつりあい 3. 運動の法則 4. 摩擦や空気の抵抗を受ける運動 5. 剛体にはたらく力のつりあい	<ul style="list-style-type: none"> ・力がベクトルであることを理解する。 ・力がつり合っている状態での物体の運動について理解する。 ・力がつり合っていない状態での物体の運動、「運動の法則」を理解する。 ・物体の回転に伴うつり合い、力のモーメントを理解する。 		
3章 仕事と力学的エネルギー	1. 仕事 2. 運動エネルギー 3. 位置エネルギー 4. 力学的エネルギーの保存	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の概念を理解する。 ・エネルギーの意味を知り、仕事とエネルギーの関係を理解する。 ・力学的エネルギーについて理解し、それが保存される場合と保存されない場合があることを理解する。 		
波				
1章 波の性質	1. 波の伝わり方と種類 2. 重ね合わせの原理と波の干渉 3. 波の反射・屈折・回折	<ul style="list-style-type: none"> ・波動現象を理解し、波の基本的法則を理解する。 ・波の基本法則である反射や屈折の法則を理解する。 		
2章 音	1. 音の伝わり方 2. 発音体の振動と共振・共鳴 3. 音のドップラー効果	<ul style="list-style-type: none"> ・音が縦波であり、空気の振動が伝搬現象であることを理解する。 ・発音体の振動や原理を通して、楽器との関係を理解する。 ・音のドップラー効果とその応用を理解する。 		
3章 光	1. 光の性質 2. 光の進み方 3. レンズ 4. 光の干渉と回折	<ul style="list-style-type: none"> ・光が波であると同時に媒質のない真空中も伝わることを理解する。 ・光の直進性や反射・屈折について理解する。 ・レンズの構造と働きを理解する。 ・光の回折と干渉から身の回りに起こる光の現象を理解する。 		
電気				
1章 静電気と電流	1. 静電気 2. 電流 3. 放電	<ul style="list-style-type: none"> ・静電気から電気の量や電荷の概念を理解する。 ・電気の流れが電子の移動であることから電気の正体を理解する。 		
2章 電流と磁場	1. 磁石 ー磁石がつくる磁場 2. 電磁石 ー電流がつくる磁場 3. モーター ー電流が磁場から受ける力 4. 発電機の仕組み ー電磁誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・電流の働きおよび磁石との関係を理解する。 ・発電のしくみや電磁調理器具の仕組みも併せて理解する。 		
3章 交流と電波	1. 交流 2. 電波	<ul style="list-style-type: none"> ・電磁誘導から交流と電波の発生を理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
理科・化学 I	普通科 2・3 年	4・5	マスター化学 I （啓林館）	トライアル化学 I （数研出版）
学習の到達度 目標	1 化学の学習を通じて化学的なものの見方や考え方を身につける。 2 実験、観察を通じて科学的に探究する能力を身につける。 3 化学を理解することによって自然や地球環境を尊重する意識と態度を身につける。			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
物質の構成	1 物質の構成 2 物質をつくる粒子 3 物質の量	<ul style="list-style-type: none"> 物質の種類、元素を基本に化学の基礎を理解する。 原子の構造や電子配置について理解する。 物質が原子、分子、イオンから構成されていること及び構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解する。 質量、体積、粒子の数との間に一定の関係があることを理解し、物質の量についての理解を深める。 物質の変化を化学反応式で表せるようにする。また、化学変化の量的な関係を理解する。 		
物質の変化	1 化学反応と熱 2 酸と塩基 3 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> 化学反応に伴うエネルギーの変化を、現象を通して考察する。また、ヘスの法則を理解し、定量的な扱いができるようにする。 酸、塩基とその水溶液の性質、変化について理解する。 中和反応と塩の性質について学び、中和滴定の実験を通じて、中和反応について定量的な扱いができるようにする。 酸化還元の定義を電子の授受、酸素の授受、水素の授受、酸化数の変化の観点から理解する。 実際の酸化還元反応から酸化剤・還元剤の関係を理解する。 金属のイオン化傾向を理解し、金属の反応性について理解する。 電池や電気分解のしくみを理解し、ファラデーの法則について学ぶ。 		
無機物質	1 非金属元素 2 金属元素	<ul style="list-style-type: none"> 周期表の意味を知り、元素のおおよその性質の推定ができる。 水素と希ガスの単体の性質などについて理解する。 ハロゲン、酸素、硫黄、窒素、リン、炭素、ケイ素の単体や化合物の性質や反応について理解する。 アルカリ金属や 2 族の元素及びその他の典型元素の化合物の性質について理解する。 遷移元素とその化合物の性質について系統的に理解する。 金属イオンの分離と確認方法を実験をもとに理解する。 		
有機化合物	1 有機化合物の特徴と構造 2 脂肪族炭化水素 3 酸素を含む脂肪族化合物 4 芳香族化合物	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の特徴について理解する。また、有機化合物の構造の決定方法について学び、脂肪族化合物について理解を深める。 飽和炭化水素や不飽和炭化水素の構造や反応等について理解する。 アルコール、エーテル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸およびエステルの性質を系統的に理解する。 ベンゼンについて理解し、芳香族化合物の特徴と性質についての理解を深める。 フェノール類、芳香族カルボン酸、アニリンとその関連化合物の性質・反応について理解する。 芳香族化合物の分離について理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
理科・生物 I	2・3年・普通科	4・5	改訂版 高等学校 生物 I (数研出版)	フォトサイエンス生物図録改訂版(数研出版) トライアル生物 I (数研出版)
学習の到達度 目標	1. 基本的な概念や原理・法則を理解する。 2. 生物的事物・事象についての観察、実験などを行い、自然に対する関心や探究心を高める。 3. 科学的な自然観を育成する。			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
1 生命の単位—細胞 2 細胞膜と物質の 出入り 3 細胞の働きと酵素 4 細胞の増殖と分化 5 単細胞生物と多 細胞生物 6 個体の成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> 生命の単位＝細胞 細胞の構造 原核生物と真核生物 細胞膜と物質の出入り 細胞と酵素反応 細胞分裂 細胞の多様化 単細胞生物と多細胞生物 多細胞生物の構造 	すべての生物の基本単位は細胞であることを理解できたか。 細胞の構造と生物が共通にもつ特徴を理解できたか。 原核生物と真核生物の細胞の構造の違いを理解できたか。 細胞膜を通しての浸透現象について理解できたか。 細胞内の化学反応にはすべて酵素が必要であることを理解できたか。 細胞分裂のしくみを理解できたか。 細胞が増殖して多種多様な細胞へ分化していくことを理解できたか。 単細胞生物と多細胞生物の違いについて理解できたか。 多細胞生物の体は、組織・器官からなることを理解できたか。		
7 生殖 8 生殖細胞の形成 9 動物と植物の生殖 10 動物の発生 11 動物の発生のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 無性生殖と有性生殖 減数分裂 植物の生殖 動物の生殖 発生の過程 発生のしくみ 	無性生殖と有性生殖の違いを理解できたか。 減数分裂のしくみを理解できたか。 被子植物の配偶子形成と受精のしくみを理解できたか。動物の配偶子形成と受精のしくみを理解できたか。 ウニとカエルの発生の過程を理解できたか。 発生のしくみが様々な実験から明らかになったことが理解できたか。		
12 遺伝の法則 13 いろいろな遺伝 14 遺伝子と染色体 15 遺伝子の本体	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝の法則 さまざまな遺伝 遺伝子と染色体 遺伝子の本体 	メンデルの3つの法則が理解できたか。 多くの遺伝現象がメンデルの法則で説明できることを理解できたか。 遺伝子は染色体上に乗って、ともに行動することが理解できたか。 遺伝子の本体はDNAであることが理解できたか。		
16 刺激の受容から 反応まで 17 受容器と効果器 18 神経系 19 動物の行動	<ul style="list-style-type: none"> 神経 刺激の受容 効果器 神経系 動物の行動 	神経細胞の構造、興奮の伝わり方が理解できたか。 受容器の構造と刺激を受け取る仕組みが理解できたか。 筋肉の構造と筋肉が収縮する仕組みが理解できたか。 神経系のつくりやその働きについて理解できたか。 動物の行動について考察することができたか。		
20 内部環境としての 体液 21 体液の恒常性 22 自律神経系とホル モンによる調節 23 刺激と植物の反応 24 成長の調節 25 花芽形成と発芽 の調節 26 植物の生活と水 27 植物の生活と光	<ul style="list-style-type: none"> 体液とその循環 体液の恒常性 自律神経系とホルモンによる調節 刺激と植物の反応 成長量の調節 花芽形成と発芽の調節 植物の生活と水 植物の生活と光 	体液について、循環の仕組みと、働きについて理解できたか 体液の状態を一定に保つ仕組みについて理解できたか 恒常性維持の仕組みについて理解できたか 植物の生活と環境との関わりについて理解できたか 成長運動の仕組みが理解できたか。 花芽の形成の仕組み、花芽形成と環境要因との関係が理解できたか。また光が発芽に及ぼす影響について理解できたか 植物の水の吸収と移動の仕組みが理解できたか。 光合成の概要、環境が光合成に及ぼす影響について理解できたか。		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
理科・理科総合B	1年・生活文化科	2	高等学校 理科総合B 改訂版（啓林館）	理科総合Bの学習ノート改訂版 （啓林館）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に関する観察，実験などを通して，生物とそれを取り巻く環境を中心に，自然の事物・現象について理解する。 ・人間と自然との関わりについて考察させ，自然に対する総合的な見方や考え方を養う。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
地球の誕生と地球の姿 第1章 地球の姿と変化	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地球の概観 2. 地球の内部 3. プレートの動きと地球の変動 4. 様々な景観と変動の記録 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球がほぼ球形であることを理解し，大気圏や水圏の存在を地球の特徴として理解する。 ・固体地球表面の地形要素について理解している。 ・固体地球は地殻・マントル・核という層構造をなすことを理解する。 ・海嶺や海溝，島弧などの大地形の位置をプレート境界と関連づけて理解する。 ・地震・火山活動，河川，氷河などの作る特徴的な景観について理解する。 		
第2章 惑星としての地球	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地球と他の惑星 2. 地球の進化と生命の誕生 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球型惑星について地球と比較して理解する。 ・木星型惑星が地球と比較してどのように違っているか理解する。 ・生命の起源はアミノ酸の合成環境から考えられていることを理解する。 		
第3章 大気と地球の熱収支	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大気と地球の熱収支 2. 大気と水の循環 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気の大循環が赤道付近・中緯度・極付近と3つの区分に分かれていることを理解する。 ・天気の変化と空気塊の運動が関連することを理解する。 ・四季に特有の気圧配置とそれによる天気について理解する。 		
生物の変遷と自然のつり合い 第1章 生物と遺伝	<ol style="list-style-type: none"> 1. 親と子のつながり 2. 遺伝の法則 3. いろいろな遺伝 4. 遺伝子の本体 	<ul style="list-style-type: none"> ・染色体がどこに存在するか，相同染色体についても理解する。 ・体細胞分裂の仕組みや特徴について理解する。 ・メンデルの交配実験を基に優性の法則について理解する。 ・学習した遺伝の法則の理解を基に，検定交雑の原理を理解する。 		
第2章 生物の変遷と多様性	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物の変遷 2. 動物の多様性 3. 植物の多様性 4. 生物の分類 	<ul style="list-style-type: none"> ・示準化石・示相化石の定義を理解する。 ・裸子植物，被子植物の花のつくりを理解する。 		
第3章 生物と環境	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境と適応 2. 生態系の成り立ちと物質循環 3. 生態系の変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在に至るまでに多様な生物が出現したことを地球環境との関連から理解する。 ・地球上の生物の自然環境との密接な関係，食物連鎖とのつながりをもって生活していることを理解する。 ・生態系における炭素や窒素の循環やエネルギーの流れについても理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
保健体育・体育	1年・普通科	3		ニューカラスポーツ（一橋出版）女子 マイスポーツ（大修館）男子
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに体力を高めるための合理的な行い方を身につける。 日常生活における運動の意義や必要性を理解し、実践する態度を身につける。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動 体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、互いに協力して運動ができるようにする。 自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践できるようにする。 		
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 持久走 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりできるようにする。 互いに協力して練習や競技できるようにする。 健康、安全に留意して練習や競技ができる。 自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的な練習や競技の仕方を工夫できるようにする。 		
球技	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール バレーボール サッカー バスケットボール バドミントン テニス 	<ul style="list-style-type: none"> 各種競技の特性を理解し、仲間と協力しながら楽しく体を動かすことができるようにする。 基礎、基本技術を理解し、正しい身のこなしができるようにする。 ルールを理解し、安全に留意しながら練習や試合ができるようにする。 		
武道	<ul style="list-style-type: none"> 柔道 剣道 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができるようにする。 伝統的な行動の仕方に留意して練習や試合ができるようにし、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 自己の能力に適した技を習得するための練習や試合の仕方を工夫できるようにする。 		
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> 創作ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> 基本となるステップや動きを身につけ、リズムにのってのびのびと踊ることができるようにする。 踊る楽しさや喜びを味わうとともに、協力して練習できるようにする。 		
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め技が円滑にできるようにする。 互いに協力や補助して練習できるようにし、安全に留意して練習や発表できるようにする。 自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習や発表の仕方を工夫できるようにする。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
保健体育・保健	1年・普通科	1	現代保健体育 （大修館）	図説現代保健 （大修館）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活や社会生活における心身の健康保持・増進を理解すると共に実践できる素地を形成する。 ・健康問題をとりまく現代社会の問題点を理解し、解決に役立つ基礎的知識を学ぶ。 ・心と身体が密接に関係していることを知り、適切な意志決定や行動を身につける。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
【健康の考え方】	1 私たちの健康のすがた 2 健康のとらえ方 3 さまざまな保健活動や対策	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の健康水準や健康問題を理解しながら、健康をどのように捉え、どのような活動対策が実施されているのかを学ぶ。 		
【健康の保持増進と 疾病の予防】	4 生活習慣病と日常の生活行動 5 喫煙と健康 6 飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙や飲酒など、さまざまな生活習慣が我々の健康に関係していることを理解し、生涯にわたり健康な生活を営む素地を形成する。 		
	7 薬物乱用と健康 8 医薬品と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用による健康障害や社会生活の危機を学ぶと共に、適切な薬の使い方や服用方法を知り、日常の生活に役立てる。 		
	9 感染症とその予防 10 エイズとその予防	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズ・結核・エボラ出血熱など細菌やウイルスによる感染症を学び正しい知識を身に付け、適切な行動方法を理解する。 		
【精神の健康】	11 健康にかかわる意志決定・行動選択 12 意志決定・行動選択に必要なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な意志決定・行動選択が健康の保持増進に必要であることを理解する。 		
	13 欲求と適応機制 14 心身の相関とストレス 15 ストレスへの対応 16 自己実現	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期に伴いさまざまな悩みを抱え込むことが多い高校時代。人間の心と身体が密接に関わり合っていることを知ると共に、適切な対処法を学び今後の社会生活に役立てる。 		
【交通安全】	17 交通事故の現状と要因 18 交通社会における運転の資質と責任 19 安全な交通社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の日本における交通社会の諸状況を知り、問題意識を高め交通ルールを再確認すると共に、諸外国の試みを学びこれからの交通社会を考える。 		
【応急手当】	20 応急手当の意識とその基本 21 心肺蘇生法 22 日常的な応急処置	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当や心肺蘇生法の意義や原理を理解すると共に、方法を学び、生涯にわたり実践できる素地を形成する。また、施術者が感染しないよう適切な器具の使い方や方法を学ぶ。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
保健体育・体育	2年・普通科	2		ニューカラスポーツ（一橋出版）女子 マイスポーツ（大修館）男子
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに体力を高めるための合理的な行い方を身につける。 ・日常生活における運動の意義や必要性を理解し、実践する態度を身につける。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、互いに協力して運動ができるようにする。 ・自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践できるようにする。 		
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりできるようにする。 ・互いに協力して練習や競技できるようにする。 ・健康、安全に留意して練習や競技ができる。 ・自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的な練習や競技の仕方を工夫できるようにする。 		
球技	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール ・サッカー ・バスケットボール ・バドミントン ・テニス 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力し各種競技に応じた技能を高め、集団の中で生かすことができるようにする。 ・基礎、基本技術を身につけ、練習や簡易ゲームに生かすことができるようにする。 ・ルールに準じ、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 		
武道	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 ・剣道 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防の中で連続技が繰り出せるようにする。 ・対人技能を高め、投げる好機をとらえることができる。 ・相手の攻防の変化に応じ、技をかけることができる。 ・投げ技と抑え技を連絡させ、得意技を身につける。 		
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となるステップや動きを身につけ、リズムにのってのびのびと踊ることができるようにする。 ・踊る楽しさや喜びを味わうとともに、協力して練習できるようにする。 		
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め技が円滑にできるようにする。 ・互いに協力や補助して練習できるようにし、安全に留意して練習や発表できるようにする。 ・自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習や発表の仕方を工夫できるようにする。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
保健体育・保健	2年・普通科	1	現代保健体育 （大修館）	図説現代保健 （大修館）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活や社会生活における心身の健康保持・増進を理解すると共に実践できる素地を形成する。 ・健康問題をとりまく現代社会の問題点を理解し、解決に役立つ基礎的知識を学ぶ。 ・心と身体が密接に関係していることを知り、適切な意志決定や行動を身に付ける。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
【生涯の各段階に おける健康】	1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期に伴いさまざまな身体の変化や男女差が顕著に表れる高校時代。正しい性意識と行動の取り方を身に付け幸せな結婚生活を意識づける。また、妊娠、出産、【生涯の各段階に家族計画を学び今後の社会生活に役立てる。 		
	6 加齢と健康 7 高齢者のための社会的とりくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による身体の形態面及び機能面の変化を知ると共に、生活習慣の大切さや周囲の支援の必要性を学ぶ。 		
【保健・医療制度及 び地域の保健・医療機関】	8 保健制度と保健サービスの活用 9 医療制度と医療費 10 医療機関と医療サービスの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や環境の健康を支援する保険制度の意義や制度を学び、豊かなライフステージが送れるように素地を形成する。 		
【環境と健康】	1 大気汚染と健康 2 水質汚濁と健康 3 土壌汚染と健康 4 健康被害の防止と環境対策	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染や水質汚濁、土壌汚染などの歴史的背景を学ぶと共に、人体に及ぼす影響力の強さを知り、今後の社会生活に役立てる。 		
【環境と食品の保健】	5 環境衛生活動のしくみと働き	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別収集や企業責任など、社会をとりまく現状を知り問題意識を高め、よりよい環境のあり方を学ぶ。 		
	6 食品衛生活動のしくみと働き 7 食品と環境の保健と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国から流通される食品や加工物。それらをとりまく諸問題や企業責任などを学び、今後の社会生活に役立てる。 		
【労働と健康】	8 働くことと健康 9 労働災害・職業病と健康 10 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・我々の健康に大きな影響を与える労働の諸問題を学び、安全な労働環境を知ると共に職業意識を高める。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
保健体育・体育	3年・普通科	3		ニューカラスポーツ（一橋出版）女子 マイスポーツ（大修館）男子
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに体力を高めるための合理的な行い方を身につける。 ・日常生活における運動の意義や必要性を理解し、実践する態度を身につける。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、互いに協力して運動ができるようにする。 ・自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践できるようにする。 		
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりできるようにする。 ・互いに協力して練習や競技できるようにする。 ・健康、安全に留意して練習や競技ができる。 ・自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的な練習や競技の仕方を工夫できるようにする。 		
球技	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール ・サッカー ・バスケットボール ・バドミントン ・テニス 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習や競技の仕方を工夫できるようにする。 ・ゲームの特色と攻防のフォーメーションを知り、ゲームに生かすことができるようにする。 ・審判法を理解し、正式にゲームが運営できるようにする。 		
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となるステップや動きを身につけ、リズムにのってのびのびと踊ることができるようにする。 ・踊る楽しさや喜びを味わうとともに、協力して練習できるようにする。 		
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め技が円滑にできるようにする。 ・互いに協力や補助して練習できるようにし、安全に留意して練習や発表できるようにする。 ・自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習や発表の仕方を工夫できるようにする。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
保健体育・体育	1年・生活文化科	2		MY SPORTS (大修館)
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに体力を高めるための合理的な行い方を身につける。 日常生活における運動の意義や必要性を理解し、実践する態度を身につける。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> 体ほぐしの運動 体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、互いに協力して運動ができるようにする。 自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践できるようにする。 		
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> 持久走 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりできるようにする。 互いに協力して練習や競技できるようにする。 健康、安全に留意して練習や競技ができる。 自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的な練習や競技の仕方を工夫できるようにする。 		
球技	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール バレーボール サッカー バスケットボール バドミントン テニス 	<ul style="list-style-type: none"> 各種競技の特性を理解し、仲間と協力しながら楽しく体を動かすことができるようにする。 基礎、基本技術を理解し、正しい身のこなしができるようにする。 ルールを理解し、安全に留意しながら練習や試合ができるようにする。 		
武道	<ul style="list-style-type: none"> 柔道 剣道 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができるようにする。 伝統的な行動の仕方に留意して練習や試合ができるようにし、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 自己の能力に適した技を習得するための練習や試合の仕方を工夫できるようにする。 		
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> 創作ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> 基本となるステップや動きを身につけ、リズムにのってのびのびと踊ることができるようにする。 踊る楽しさや喜びを味わうとともに、協力して練習できるようにする。 		
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の能力に応じて技能を高め技が円滑にできるようにする。 互いに協力や補助して練習できるようにし、安全に留意して練習や発表できるようにする。 自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習や発表の仕方を工夫できるようにする。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
保健体育・保健	2年・生活文化科	1	現代保健体育 （大修館）	図説現代保健 （大修館）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活や社会生活における心身の健康保持・増進を理解すると共に実践できる素地を形成する。 ・健康問題をとりまく現代社会の問題点を理解し、解決に役立つ基礎的知識を学ぶ。 ・心と身体が密接に関係していることを知り、適切な意志決定や行動を身に付ける。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
【生涯の各段階に おける健康】	1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期に伴いさまざまな身体の変化や男女差が顕著に表れる高校時代。正しい性意識と行動の取り方を身に付け幸せな結婚生活を意識づける。また、妊娠、出産、【生涯の各段階に家族計画を学び今後の社会生活に役立てる。 		
	6 加齢と健康 7 高齢者のための社会的と りくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による身体の形態面及び機能面の変化を知ると共に、生活習慣の大切さや周囲の支援の必要性を学ぶ。 		
【保健・医療制度及 び地域の保健・医 療機関】	8 保健制度と保健サー ビスの活用 9 医療制度と医療費 10 医療機関と医療サー ビスの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や環境の健康を支援する保険制度の意義や制度を学び、豊かなライフステージが送れるように素地を形成する。 		
【環境と健康】	1 大気汚染と健康 2 水質汚濁と健康 3 土壌汚染と健康 4 健康被害の防止と環境 対策	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染や水質汚濁、土壌汚染などの歴史的背景を学ぶと共に、人体に及ぼす影響力の強さを知り、今後の社会生活に役立てる。 		
【環境と食品の保健】	5 環境衛生活動のしくみ と働き	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別収集や企業責任など、社会をとりまく現状を知り問題意識を高め、よりよい環境のあり方を学ぶ。 		
	6 食品衛生活動のしくみ と働き 7 食品と環境の保健と私 たち	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国から流通される食品や加工物。それらをとりまく諸問題や企業責任などを学び、今後の社会生活に役立てる。 		
【労働と健康】	8 働くことと健康 9 労働災害・職業病と健康 10 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・我々の健康に大きな影響を与える労働の諸問題を学び、安全な労働環境を知ると共に職業意識を高める。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
保健体育・体育	2年・生活文化科	2		マイスポーツ （大修館）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに体力を高めるための合理的な行い方を身につける。 ・日常生活における運動の意義や必要性を理解し、実践する態度を身につける。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、互いに協力して運動ができるようにする。 ・自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践的できるようにする。 		
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりできるようにする。 ・互いに協力して練習や競技できるようにする。 ・健康、安全に留意して練習や競技ができる。 ・自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的な練習や競技の仕方を工夫できるようにする。 		
球技	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール ・サッカー ・バスケットボール ・バドミントン ・テニス 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力し各種競技に応じた技能を高め、集団の中で生かすことができるようにする。 ・基礎、基本技術を身につけ、練習や簡易ゲームに生かすことができるようにする。 ・ルールに準じ、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。 		
武道	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道 ・剣道 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め、相手の動きに対応した攻防の中で連続技が繰り出せるようにする。 ・対人技能を高め、投げる好機をとらえることができる。 ・相手の攻防の変化に応じ、技をかけることができる。 ・投げ技と抑え技を連絡させ、得意技を身につける。 		
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となるステップや動きを身につけ、リズムにのってのびのびと踊ることができるようにする。 ・踊る楽しさや喜びを味わうとともに、協力して練習できるようにする。 		
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め技が円滑にできるようにする。 ・互いに協力や補助して練習できるようにし、安全に留意して練習や発表できるようにする。 ・自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習や発表の仕方を工夫できるようにする。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
保健体育・保健	2年・生活文化科	1	現代保健体育 （大修館）	図説現代保健 （大修館）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活や社会生活における心身の健康保持・増進を理解すると共に実践できる素地を形成する。 ・健康問題をとりまく現代社会の問題点を理解し、解決に役立つ基礎的知識を学ぶ。 ・心と身体が密接に関係していることを知り、適切な意志決定や行動を身に付ける。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
【生涯の各段階に おける健康】	1 思春期と健康 2 性意識と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画と人工妊娠中絶	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期に伴いさまざまな身体の変化や男女差が顕著に表れる高校時代。正しい性意識と行動の取り方を身に付け幸せな結婚生活を意識づける。また、妊娠、出産、【生涯の各段階に家族計画を学び今後の社会生活に役立てる。 		
	6 加齢と健康 7 高齢者のための社会的と りくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・加齢による身体の形態面及び機能面の変化を知ると共に、生活習慣の大切さや周囲の支援の必要性を学ぶ。 		
【保健・医療制度及 び地域の保健・医 療機関】	8 保健制度と保健サービ スの活用 9 医療制度と医療費 10 医療機関と医療サービ スの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・個人や環境の健康を支援する保険制度の意義や制度を学び、豊かなライフステージが送れるように素地を形成する。 		
【環境と健康】	1 大気汚染と健康 2 水質汚濁と健康 3 土壌汚染と健康 4 健康被害の防止と環境対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染や水質汚濁、土壌汚染などの歴史的背景を学ぶと共に、人体に及ぼす影響力の強さを知り、今後の社会生活に役立てる。 		
【環境と食品の保健】	5 環境衛生活動のしくみと 働き	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別収集や企業責任など、社会をとりまく現状を知り問題意識を高め、よりよい環境のあり方を学ぶ。 		
	6 食品衛生活動のしくみと 働き 7 食品と環境の保健と私た ち	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国から流通される食品や加工物。それらをとりまく諸問題や企業責任などを学び、今後の社会生活に役立てる。 		
【労働と健康】	8 働くことと健康 9 労働災害・職業病と健康 10 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> ・我々の健康に大きな影響を与える労働の諸問題を学び、安全な労働環境を知ると共に職業意識を高める。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
保健体育・体育	3年・生活文化科	3		マイスポーツ （大修館）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力と各種運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうとともに体力を高めるための合理的な行い方を身につける。 ・日常生活における運動の意義や必要性を理解し、実践する態度を身につける。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
体づくり運動	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動に対する関心や意欲を高めるとともに、互いに協力して運動ができるようにする。 ・自己の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を実践できるようにする。 		
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・持久走 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め、競技したり記録を高めたりできるようにする。 ・互いに協力して練習や競技できるようにする。 ・健康、安全に留意して練習や競技ができる。 ・自己の能力に応じた課題の解決を目指して計画的な練習や競技の仕方を工夫できるようにする。 		
球技	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・バレーボール ・サッカー ・バスケットボール ・バドミントン ・テニス 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指し、計画的な練習や競技の仕方を工夫できるようにする。 ・ゲームの特色と攻防のフォーメーションを知り、ゲームに生かすことができるようにする。 ・審判法を理解し、正式にゲームが運営できるようにする。 		
ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンス 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となるステップや動きを身につけ、リズムにのってのびのびと踊ることができるようにする。 ・踊る楽しさや喜びを味わうとともに、協力して練習できるようにする。 		
器械運動	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に応じて技能を高め技が円滑にできるようにする。 ・互いに協力や補助して練習できるようにし、安全に留意して練習や発表できるようにする。 ・自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習や発表の仕方を工夫できるようにする。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
音楽・音楽 I	1年・普通科	2	T u t t i （教育出版）	音楽通論（教育芸術社）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味や曲想を感じ取り、発声や表現を工夫することができる ・アンサンブルを中心に視奏力やアンサンブル能力を高める。 ・様々な民族音楽を通して、異文化に対する理解を深める。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
みんなで 歌おう	ホール・ニューワールド 翼をください 世界に一つだけの花	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく歌うことを通して豊かな声を引き出すことができる。 ・正確な音程で歌うことができる。 		
歌曲の世界	Caro mio ben Santa Lucia 野ばら	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にあった発声を探求する。 ・詩と旋律の関係について理解を深める。 ・フレーズを豊かに表現する力を養う。 		
合唱曲選	涙そうそう ほたる こい 村祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・ハーモニーを感じながら合唱の響きを味わうことができる。 ・詞のメッセージを生かした表現を追求することができる。 		
アンサンブル	Coffee Road YOU CAN DO IT!	<ul style="list-style-type: none"> ・アンサンブルの楽しさとさまざまな素材音の響きを味わうことができる ・音程、音量、音色に気を配り、充実したアンサンブルをつくることができる。 		
舞台芸術の世界・ミュージカルの世界	Ombra mai fu メリー・ウィドウ ・ワルツ カルメン	<ul style="list-style-type: none"> ・総合芸術としてのオペラの魅力を感じ取ることができる。 ・オペラの歴史的・文化的背景を理解する。ミュージカルのおもしろさを感じ取ることができる。 		
諸民族音楽	アザーン ホーミー タブラー カヤグム	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの民族の音楽の特徴をとらえ、そのよさを感じ取ることができる。 ・諸民族の多様な楽器に関心をもち、音色を味わう。 		
日本音楽	蘭陵王 京鹿子娘道成寺 エクリプス	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統音楽のよさと価値を知る。 ・現代的な邦楽作品のよさと価値を知る。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
芸術 美術 I	1年・普通科 2年・生活文化科	2	高校美術 I （日本文教出版）	
学習の到達度 目標	・芸術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の力を伸ばす。			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
素描 I （鉛筆デッサン）	自分の手にポーズをつけて	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆の様々な表現方法を試作する。 ・対象を深く観察し、画面の中のに的確に構成する。 		
素描 II （鉛筆デッサン）	静物画	<ul style="list-style-type: none"> ・構図は動勢（ムーブメント）、均衡（バランス）を考え、構成を工夫する。 ・鉛筆の特性を生かし、対象の形態・明暗・量感・質感などを表現する。 		
油彩 I	静物画	<ul style="list-style-type: none"> ・油絵の具の特徴について水彩絵の具との比較から扱い方を学ぶ。 ・油絵の具の使い方を理解する。 ・デッサンの白黒の世界から有彩色の世界でも混色や重色により立体感・材質感・空間などを表現することを理解する。 		
鑑賞	美術展に行つて	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に展覧会の会場に足を運ばせ、各作品の表現方法や視点、手法を理解する。 		
素描 （クロッキー）	人物を描く	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルの特徴を素早く捕らえて描く。鉛筆以外の用具も使用して描く。 		
彫塑	抽象的な立体	<ul style="list-style-type: none"> ・自由な発想をもとに粘土で制作し、彩色する。 ・「見えないもの」を視覚することを課題とし、構想を立てる。形を生み出す楽しさを知り、物の持つ量感、質感についての理解を深める。 		
油彩 II	心の中の情景	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の内面を見つめ、心の奥に潜む情景を描く。 ・作例を鑑賞し、作品とテーマの重要性・表現方法の多様性と効果を感じ取る。 ・材質感や空間の表現、マチエールなどの造形要素についても理解を深める。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
芸術・書道Ⅰ	1年・普通科 2年・生活文化科	2	書道Ⅰ （東京書籍）	
学習の到達度 目標	代表的な古典の鑑賞・臨書を通して、筆者により様々である書風の違いを理解し、書写能力を高めるとともに、多様な書美表現を習得する。また、書に関わる一連の作業を通して身近に書を感じ、楽しんで取り組もうとする意欲や豊かな感性を育む。			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
はじめに	書写から書道へ	<ul style="list-style-type: none"> ・書写の上に成り立つ芸術科書道とは何かを理解する。 ・文房四宝について知り、その用途や種類、特性を理解し、丁寧に扱う態度を養う。 ・姿勢や執筆法について理解する。 ・校歌を整齐に書くことで書写を振り返る。 ・用具・用材の組み合わせや紙面構成により様々に表現できることを理解する。 ・漢字の書の変遷について理解する。 ・代表的な古典を鑑賞し、楷書の書美を率直に感得する。 ・古典の背景や筆者の人となりを知り、それぞれの特徴を理解し臨書する。 ・名品を鑑賞し、印章芸術について理解を深める。 ・必要な用具・用材や刻る手順を理解する。 ・名品を参考に実際に刻し制作することで、篆刻の楽しさや面白さを体感する。 ・代表的な古典を鑑賞し、行書の書美を率直に感得する。 ・古典の背景や筆者の人となりを知り、それぞれの特徴を理解し臨書する。 ・選んだ語句（二字）を古典から集字し、その書風や用筆を生かし創作する。 ・仮名の成立と変遷について理解する。 ・仮名の書美を率直に感得し日本独自の文字芸術であることを理解する。 ・仮名の基本用筆を習得する。 ・代表的な古典を鑑賞し、仮名独特の字形や連綿などその美しさを感じながら臨書する。 ・先に臨書した歌を素材とし、紙面構成を考え、色を染めた紙に散らし書きする。 ・幅広く現代書家の作品を鑑賞し、多様な書美表現に触れる。 ・詩文から受ける印象や思いを伝えるためにはどのような工夫が必要かを考え、創作する。 		
漢字仮名交じりの書①	詩文を書く			
漢字の書	楷書の古典鑑賞と臨書			
	篆刻			
	行書の古典鑑賞と臨書			
	漢字の書の創作			
仮名の書	平安古筆の鑑賞と臨書			
	仮名の書の創作			
漢字仮名交じりの書②	詩文を書く			

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
音楽・音楽Ⅰ	2年・生活文化科	2	高校の音楽1 （音楽之友社）	音楽通論（教育芸術社）
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味や曲想を感じ取り、発声や表現を工夫することができる ・アンサンブルを中心に視奏力やアンサンブル能力を高める。 ・様々な民族音楽を通して、異文化に対する理解を深める。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
みんなで歌おう	ホール・ニューワールド 翼をください カントリーロード	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく歌うことを通して豊かな声を引き出す力を養う。 ・みんなで歌い合う喜びを感じることができる。 		
歌曲の世界	この道 待ちぼうけ An die Musik Caro mio ben 野ばら	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲に合った豊かな発声法や言葉の美しい響かせ方を工夫することができる。 ・歌詞の内容をよく理解し、言葉と音楽の結びつきに注意した表現ができる。 		
アンサンブル	ケチャ Coffee Road YOU CAN DO IT!	<ul style="list-style-type: none"> ・声、体、打楽器などさまざまな媒体を用いて表現の楽しさを感じ取ることができる。 ・イメージを膨らませ、個性的な表現を工夫する能力を高める。 		
西洋音楽史	グレゴリオ聖歌 ブランデンブルク協奏曲 交響曲「新世界」より 歌曲集「詩人の恋」 ボレロ	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋音楽の歴史を理解し、その時代の特徴を感じ取ることができる。 ・声や楽器の音色や表現の特徴を感じ取ることができる。 ・楽曲の構造を理解する。 		
合唱の楽しみ	村祭り Choral 大地讃頌	<ul style="list-style-type: none"> ・正確な音程や響きによる美しいハーモニーを追求する能力を高める。 ・歌詞の内容に応じた表現の工夫ができる。 		
劇音楽の世界		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな劇音楽や声楽曲に関心を持ち、表現の多様性を味わいつつ、各ジャンルの特徴や違いを感じ取ることができる。 		
伝統音楽	蘭陵王 京鹿子娘道成寺	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな伝統音楽にふれることを通してその音楽に関心を持つことができる。 ・歌詞の内容、声や楽器の音色、奏法を理解し、表現の特徴を感じ取ることができる。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
外国語・英語 I	1年・普通科	4	NEW EDITION WORLD TREK ENGLISH COURSE I (桐原書店)	WORLD TREK ENGLISH COURSE I (NEW EDITION) Workbook Basic (桐原書店)
学習の到達度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・読む、聞く、内容を理解する、意見や考えを伝えるための表現力を養う。 ・以上4つの項目を、英文を通してバランスよく身につける。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
Lesson1	We Have Hopes and Dreams JUST LIKE YOU!	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とインドネシアの高校生がインターネット上で語る。 ・将来の夢を通して、各自の夢について考える。基本5文型を理解する。 		
Lesson2	We Love Ice Cream	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスクリームの歴史、おいしさの秘密、世界の様々なアイスクリームについて学ぶ。 ・現在進行形、過去進行形、S+V(+O)+O(=howなど+不定詞)、現在完了を理解する。 		
Lesson3	We make Friends through Cambodian Dances	<ul style="list-style-type: none"> ・カンボジアには日本と同様に伝統的な舞踊があること、さらに学校に行けない子供がいるという現実を知る。 ・受け身,不定詞①(名詞的用法),分詞の形容詞的用法(現在分詞)を理解する。 		
Lesson4	The Story of a Little Wooden Flute	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽家・黒坂さんが、被爆樹から作った小さな木の笛の演奏を通じて、世界に平和の祈りを届ける意味を知る。 ・分詞の形容詞的用法(過去分詞),S+V(+O)+O(=that節),不定詞②(形容詞的用法)を理解する。 		
Lesson5	A Flying Wheel-chair	<ul style="list-style-type: none"> ・車いす生活を余儀なくされた木村氏の生活を通して、生きる力の素晴らしさを学ぶ。 ・動名詞,不定詞③(副詞的用法),It is+~(for)+不定詞を理解する。 		
Lesson6	The Most Beautiful Sight in the World	<ul style="list-style-type: none"> ・物語を通して家族愛について学ぶ。 ・比較級,最上級,関係代名詞①(who)について理解する。 		
Lesson7	The Role of Zoos	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅の危機にある動物を救う活動を通して、環境問題について学ぶ。 ・関係代名詞②(which/that),S+V(+O)+O(=whatなどで始まる節)を理解する。 		
Lesson8	Color Associations	<ul style="list-style-type: none"> ・色が伝えるイメージの違いを通して異文化理解を深める。 ・関係代名詞③(what),S+V+O+C(=動詞の原形),S+V+O+C(=現在分詞),S+V(+O)+O(=if/whether節)を理解する。 		
Lesson9	A Plastic That Returns to the Earth	<ul style="list-style-type: none"> ・土に還るプラスチックの開発秘話を通して科学技術の進歩について知る。 ・現在完了進行形助動詞を含む受け身比較を使った倍数表現S+V+O+C(=過去分詞)を理解する。 		
Lesson10	What is Meaningful International Cooperation?	<ul style="list-style-type: none"> ・「国境なき医師団」の活動を通して、国際協力について学ぶ。 ・seem+不定詞,過去完了,It+be動詞+形容詞+that節を理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
外国語・ オーラル コミュニケーション1	1年・普通科	1	Hello there! Oral Communic ation1(東京書籍)	
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解することができる。 ・ 日常的な話題について、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。 ・ 日常的な話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
Warm-up	Nice to meet you	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分を紹介する。あいさつをする。聞き返す。意味をたずねる。説明する。 ・ Be動詞と一般動詞・短縮形・助動詞shallの用法・文型を理解する。 		
Lesson1	Hello, Friends!	<ul style="list-style-type: none"> ・ 許可を求める（与える）。出身地をきく。方法をきく。 ・ 助動詞mayの用法・疑問詞を用いた疑問文tooとeitherの使い分けができる。 		
Lesson2	My Favorite Things	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を言う。事柄を並べて説明する。 ・ What+名詞を用いた疑問文・助動詞canの用法を理解する。平叙文の語順での疑問文を理解する。 		
Lesson3	What Are You Crazy About?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理由を列挙する。興味・関心を伝える。相手を誘う。 ・ 仮定法(助動詞wouldの用法)・現在進行形・前置詞の後の動名詞・動詞knowの目的語になる名詞節を理解する。 		
Presentaion1	About Myself	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人前で恥ずかしながら発表することができる。自分のことに関してクラスの前で発表できる。 		
Lesson4	A Friendly Potluck Dinner	<ul style="list-style-type: none"> ・ 許可を求める。許可する・しない。説明する。 ・ 助動詞mayの用法・主語の省略・所有代名詞mine・否定詞notを含んだ疑問詞を理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
外国語・ オーラル コミュニケーション1	2年・普通科	1	Hello there! Oral Communic ation1(東京書籍)	
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解することができる。 ・日常的な話題について、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。 ・日常的な話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
Lesson5	Are You All Right?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同情する。事情を理解する。助言する。 ・ 助動詞shouldの用法・現在進行形・命令文を理解する。 		
Lesson6	Talking about Our Town	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身地を言う。距離と方角を言う。場所の特徴をきく。 ・ 時間と距離・方角に関するitの用法・歴史年号の表記・仮定法(助動詞couldの用法)を理解する。 		
Lesson7	Where Are You Now?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のききたいことを伝える。注意を促す。行き方を教える。場所を示す。 ・ Notを含んだ命令文・命令文による指示、受動態＋現在進行形・関係副詞whereの用法を理解する。 		
Lesson8	My Way	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欲求や願望を伝える。理由を説明する。同意を求める。 ・ 受動態・強調構文・付加疑問文の用法を理解する。 		
Presentaion2	About My School-life	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校生活、自分の町、好きなもの（食べ物、趣味など）について、既習の表現を用いて英語で発表することができる。 		
Presentation3	Free Theme	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループでテーマを決めて発表する。聞き手の興味を引くように工夫する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
外国語・英語 I	1年・生活文化科	3	Captain English Course 1 Revised (大修館書店)	Captain English Course 1 Revised 学習ノート (大修館書店)
学習の到達度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について、具体的な言語の使用場面の中で、聞いたことや読んだことを理解する基礎的な能力を養う。 ・日常的な話題について、具体的な言語使用の場面の中で、英語で話したり書いたりする基礎的な能力を養う。 ・場面や目的に応じて、主体的、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
Lesson1	Not No.1 but Only One	<ul style="list-style-type: none"> ・歌に込められたメッセージを読み取る。 ・be動詞・一般動詞を理解する。 		
Lesson2	Sea Otters and Kelp Forests	<ul style="list-style-type: none"> ・ラッコの生態を通して環境問題を考える。 ・進行形を理解する。 		
Lesson3	It's Yummy!	<ul style="list-style-type: none"> ・メキシコの代表的料理の作り方を通して、異文化理解を深める。 ・命令文・助動詞を理解する。 		
Lesson4	Be Your Own Captain!	<ul style="list-style-type: none"> ・元大関KONISHIKIの高校時代のスピーチを通して、高校時代の過ごし方・自分の進路・自分と家族の関わりについて考える。 ・動詞の過去形を理解する。 		
Lesson5	For Your Health	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のホームページの掲示板に書かれた投稿を読み、自分の考えを書き込む。「健康」について話し合う。 ・不定詞・動名詞を理解する。 		
Lesson6	Is Seeing Believing?	<ul style="list-style-type: none"> ・目の錯覚について理解し、人間の目の不確かさと逆にそれを利用した事例を研究し、錯覚に対して関心を持つ。 ・比較表現を理解する。 		
Lesson7	Friendship or Love?	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ電話相談に寄せられた恋と友情の悩みを読んで、状況を読み取って、要約文が書けるようになる。 ・現在完了を理解する。 		
Lesson8	Volunteering in Thailand	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の体験談を正しく読み取ることができる。 ・受動態を理解する。 		
Lesson9	Can Robots Beat Us at Soccer?	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボカップの構想を正確に読み取り、場面をイメージすることができる。 ・分詞による名詞の修飾を理解する。 		
Lesson10	War of the Landmines	<ul style="list-style-type: none"> ・地雷の恐ろしさや地雷撤去運動について理解し、戦争と平和について考える。 ・文による名詞の修飾を理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
外国語・ オーラル コミュニケーション1	2年・生活文化科	1	Hello there! Oral Communic ation1(東京書籍)	
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解することができる。 ・ 日常的な話題について、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。 ・ 日常的な話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
Warm-up	Nice to meet you	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分を紹介する。あいさつをする。聞き返す。意味をたずねる。説明する。 ・ Be動詞と一般動詞・短縮形・助動詞shallの用法・文型を理解する。 		
Lesson1	Hello, Friends!	<ul style="list-style-type: none"> ・ 許可を求める(与える)。出身地をきく。方法をきく。 ・ 助動詞mayの用法・疑問詞を用いた疑問文tooとeitherの使い分けを理解する。 		
Lesson2	My Favorite Things	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を言う。事柄を並べて説明する。 ・ What+名詞を用いた疑問文・助動詞canの用法、平叙文の語順での疑問文を理解する。 		
Lesson3	What Are You Crazy About?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理由を列挙する。興味・関心を伝える。相手を誘う。 ・ 仮定法(助動詞wouldの用法)・現在進行形・前置詞の後の動名詞・動詞knowの目的語になる名詞節を理解する。 		
Presentaion1	About Myself	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人前で恥ずかしながら発表することができる。自分のことに関してクラスの前で発表できる。 		
Lesson4	A Friendly Potluck Dinner	<ul style="list-style-type: none"> ・ 許可を求める。許可する・しない。説明する。 ・ 助動詞mayの用法・主語の省略・所有代名詞mine・否定詞notを含んだ疑問詞を理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
外国語・ オーラル コミュニケーション1	3年・生活文化科	1	Hello there! Oral Communic ation1(東京書籍)	
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解することができる。 ・ 日常的な話題について、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。 ・ 日常的な話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
Lesson4	A Friendly Potluck Dinner	<ul style="list-style-type: none"> ・ 許可を求める。許可する・しない。説明する。 ・ 助動詞mayの用法・主語の省略・所有代名詞mine・否定詞notを含んだ疑問詞を理解する。 		
Lesson5	Are You All Right?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同情する。事情を理解する。助言する。 ・ 助動詞shouldの用法・現在進行形・命令文を理解する。 		
Lesson6	Talking about Our Town	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出身地を言う。距離と方角を言う。場所の特徴をきく。 ・ 時間と距離・方角に関するitの用法、歴史年号の表記・仮定法(助動詞couldの用法)を理解する。 		
Lesson7	Where Are You Now?	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分のききたいことを伝える。注意を促す。行き方を教える。場所を示す。 ・ Notを含んだ命令文・命令文による指示受動態＋現在進行形・関係副詞whereの用法を理解する。 		
Lesson8	My Way	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欲求や願望を伝える。理由を説明する。同意を求める。受動態・強調構文・付加疑問文を理解する。 		
Finish-Up	Equal Roles	<ul style="list-style-type: none"> ・ 描写する ・ 感嘆文・不定詞＋that節を理解する。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
家庭・家庭基礎	1年・普通科	2	高等学校改訂版 家庭基礎 (第一学習社)	
学習の到達度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的な知識と技術を身につける。 ・生活課題を主体的に解決し、生活の向上を図る能力と実践的な態度を養う。 			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
共に生きる	生涯発達と私たちの課題 家族・家庭と社会 私たちの将来設計	<ul style="list-style-type: none"> ・人間は生涯を通して発達していくことを認識し、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考える。 ・生涯を見通した生活について考え、生活を設計する。 		
豊かな生涯へ	乳幼児の心身の発達 親の役割と保育 こどもの福祉と社会環境 高齢者の進展と今後の展望 高齢者の生活と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の心身の発達の特徴を理解する。 ・乳幼児保育の重要性と親の役割について理解する ・子育て支援について理解し、地域社会の役割を考える。 ・高齢期の特徴と生活及び高齢社会の現状と課題を知る。 ・高齢者の生活を支えるため、家族や地域社会の役割について理解する。 		
消費を考える	私たちの暮らしと経済 消費者の権利と責任 私たちの消費生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が消費者であることを自覚し、適切な意思決定や消費行動をとることが消費者の責任であることを理解する。 ・環境にやさしい消費行動を調べ、周囲と協力しながら実践していく姿勢を身につける。 		
食べる	私たちの暮らしと食生活 栄養と食品 食品の選び方 健康は食生活の改善から 献立と調理	<ul style="list-style-type: none"> ・食物の役割を理解し、現代の食生活の実情を考える。 ・栄養素の種類と役割や、各食品の特質を理解する ・現代の食生活の傾向を知り、健康で安全な食生活を営むための基本を理解する。 ・献立を作成し、調理実習を通して、基礎的技術や食卓作法などを身につける。 		
装う	私たちの暮らしと被服 被服材料 被服の選択と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の機能を理解し、望ましい着装を考える。 ・繊維の種類・特徴を理解し、加工の目的や用途を知る。 ・被服購入時の表示の見方を知るとともに、被服の手入れについて主体的に取り組む態度を養う。 		
住まう	私たちの暮らしと住まい 健康で安全な住まい 快適な住まいをめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能を理解し、快適な条件を考える。 ・住環境が、健康な生活に大きく影響を与えることを知る。 ・自然環境や社会環境と住生活の関連を調べ、今後の住生活のあり方について考える。 		
学習を生かす	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の家庭生活や地域の生活と関連づけて生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して、生活を科学的に探求する方法や問題解決の能力を身につける。 		

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
家庭・家庭総合	1年・生活文化科	4	新家庭総合 （実教出版）	ヘルシーデータ食品成分表（教育図書）・新調理実習テキスト（開隆堂出版・家庭科問題集基礎編（県家庭科教育振興会）
学習の到達度目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に身につける。 ・生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る能力と態度を養う。 			
単元	学習内容	ねらい・目標等		
人とかかわって生きる	自分らしく生きる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を客観的にみつめ、自分らしさを考える。 ・青年期の課題を自覚し、高校生活を設計する。 ・家族・家庭の意義を機能・役割を通して考える。 ・男女が協力して家庭を築く重要性について理解する。 ・乳幼児保育の重要性を認識し、乳幼児の心身の発達の特徴を理解する。 ・子どものおかれている現状を把握し、子育ての課題について考える。 ・高齢者の心身の特徴や生活について理解する。また、家族や地域の介護・福祉の必要性を理解し、高齢社会の現状や今後の課題について考える。 ・家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉、地域社会の役割を理解する。 ・食生活の歴史や食文化から、食の意義について考える。 ・栄養素の種類と役割や、各食品の特質を理解する。 ・食事摂取基準と食品摂取量のめやすを理解し、家族の食事の献立作成ができる。 ・調理の目的と調理法の特徴を理解し、実習を通して、基礎的技術や食卓作法などを身につける。 ・現代の食生活の傾向を知り、健康で安全な食生活について理解し、これからの課題について考える。 ・繊維の種類・特徴を理解し、用途に応じた選択を考える ・衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。また、自己表現としての着装について考える。 ・衣生活の現状や問題点を知り、環境の立場から、望ましい衣生活のあり方を考える。 ・快適な住生活をするための住空間のあり方を理解する。 ・これからの望ましい住生活のあり方について考える。 ・各自が消費者であることを自覚し、適切な意思決定や消費行動をとることが消費者の責任であることを理解する。 ・自分の生活を見直し、資源・環境に配慮した暮らしを考え、実行できる力を養う。 ・生活設計の中で、生涯を見通した自己の生活について主体的に考える。 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連づけて、生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践することを通して、生活を科学的に探求する方法や問題を解決していく能力を身につける。 		
	家族とかかわって生きる			
	子どもとかかわって生きる			
	高齢者とかかわって生きる			
	社会とかかわって生きる			
生活をつくる	食生活をつくる			
	衣生活をつくる			
	住生活をつくる			
消費者として自立する	消費行動を考える			
	経済的に自立する生活設計			
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動			

教科・科目	対象学年・学科	単位数	教科書（出版社）	使用教材（出版社）
情報・情報C	1年・普通科	2	高等学校三訂版 情報C (第一学習社)	情報C 整理と実習 (第一学習社) ケーススタディ 情報モラル (第一学習社)
学習の到達度 目標	(1) 情報の収集・処理・発信などの情報活用能力を身につける。 (2) 情報の収集・発信における問題点を理解し、それをふまえて適切な情報発信ができるようになる。 (3) 情報を主体的に活用し、情報社会に主体的に参加する態度を身につける。 (4) コンピュータの特性や情報通信ネットワークのしくみなどの基礎知識を習得する。			
単 元	学 習 内 容	ね ら い ・ 目 標 等		
序章	<ul style="list-style-type: none"> ・社会と情報 ・情報機器とコンピュータ 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会において「情報」は重要な要素であり、「情報」と正しくつきあうことが重要であることを理解する。 ・情報を統合してわかりやすく表現する能力を身につける。 		
第1章 情報の デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・情報のデジタル化のしくみ ・情報機器の種類と特性 ・情報機器を活用した表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルとアナログの違い、デジタル情報は2進数で処理されることをきちんと理解する。 ・表計算ソフトウェア、ワードプロセッサ、ペイントツールの基本的な機能を使い、文字と画像を組み合わせた文書をつくることができる。 ・プレゼンテーションソフトウェアで発表用資料をつくり、プレゼンテーションを行うことができる。 		
第2章 情報通信 ネットワーク とコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信のしくみ ・情報通信の効率的な方法 ・コミュニケーションにおけるネットワークの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークにおける約束ごとの存在を知る。 ・情報通信の効率的な伝送方法を知る。 ・ネットワークコミュニケーションのいろいろな形態と特徴を理解する。 		
第3章 情報の 収集・発信と 個人の責任	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の公開・保護と個人の責任 ・ネットワークを活用した情報の収集・発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の受信、流通、発信にともなう注意事項を理解する。 ・ネットワークを活用し、情報の収集・発信を行うことができる。 		
第4章 情報化の 進展と 社会への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・社会で利用されている情報システム ・情報化が社会に及ぼす影響 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活は、さまざまな情報システムに支えられていることを知る。 ・情報システムが人の生活を便利にするために使われていることを知る。 		